

# 官報

號外

大正十三年七月十六日 水曜日

## 印刷局

### 第四十九回衆議院議事速記録第十一號

大正十三年七月十五日(火曜日)午後一時十四分開議

議事日程 第十號

大正十三年七月十五日

午後一時開議

- 一 農村救濟政策ニ關スル質問(三輪市太郎君外六名提出)
- 二 國民思想ニ關スル質問(原惣兵衛君外一名提出)
- 三 漁港施設及水産業保護獎勵ニ關スル質問(秋田寅之介君提出)
- 四 外交財政産業ニ關スル質問(中村嘉壽君提出)
- 五 經濟革新ニ關スル質問(竹内友治郎君提出)
- 六 自作農維持創定ニ關スル質問(堤康次郎君提出)
- 七 議員ノ特權ニ關スル質問(橫山勝太郎君外一名提出)
- 第一 議員田淵豐吉君懲罰事犯ノ件(委員長報告)
- 第二 鑛業法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會
- 第三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第四 所得稅法中改正法律案(菊池謙二郎君提出) 第一讀會
- 第五 農村振興ニ關スル建議案(床次竹二郎君外十七名提出)
- 第六 農村振興ニ關スル建議案(東武君外十六名提出)
- 第七 部落有林野統一緩和ニ關スル建議案(土井權大君提出)
- 第八 小麥及小麥粉輸入稅率引上ニ關スル建議案(土井權大君提出)

- 第九 國有林野所在府縣市町村ニ對シ交付金下付ニ關スル建議案(八田宗吉君外二名提出)
- 第十 飛行事業擴張ニ關スル建議案(長岡外史君提出)
- 第十一 澁川長野原間鐵道速成ニ關スル建議案(木村三郎君提出)
- 第十二 遠信鐵道速成ニ關スル建議案(樋口秀雄君外二名提出)
- 第十三 遠信鐵道速成ニ關スル建議案(倉元要一君外一名提出)
- 第十四 金野勳章年金増額ニ關スル建議案(熊谷直大君外三名提出)
- 第十五 用排水幹線改良事業費國庫補助ニ關スル建議案(加藤知正君外七名提出)
- 第十六 用排水幹線改良事業費補助金ニ關スル建議案(建部進吾君提出)
- 第十七 義務教育費國庫負擔増額ニ關スル建議案(元田肇君外十六名提出)
- 第十八 水產助成ニ關スル建議案(元田肇君外十六名提出)
- 第十九 府縣稅戶數割規則改正ニ關スル建議案(藤田胸太郎君提出)
- 第二十 花卷釜石間鐵道開通ニ關スル建議案(志賀和多利君外一名提出)
- 第二十一 大阪和歌山間鐵道敷設ニ關スル建議案(山口義一君外一名提出)
- 第二十二 地震研究ノ特殊機關設立ニ關スル建議案(田中善立君外四名提出)
- 第二十三 樺太ニ衆議院議員選舉法施行ニ關スル建議案(中野寅吉君提出)
- 第二十四 私有林野造林國庫補助ニ關スル建議案(村山喜一郎君提出)

- 第二十五 農村副業獎勵ニ關スル建議案(岡田田吉君外一名提出)
- 第二十六 私學復興ニ關スル建議案(山下谷次君提出)
- 第二十七 大學令中改正ニ關スル建議案(山下谷次君提出)
- 第二十八 私立學校令中改正ニ關スル建議案(山下谷次君提出)
- 第二十九 高等學校令中改正ニ關スル建議案(山下谷次君提出)
- 第三十 東京港修築及京濱運河開鑿促進ニ關スル建議案(若尾綾太郎君外二名提出)
- 第三十一 京濱運河開鑿促進ニ關スル建議案(平沼亮三君外一名提出)
- 第三十二 東京灣築港速成ニ關スル建議案(太田信治郎君外九名提出)
- 第三十三 蠶絲業ノ根本政策ニ關スル建議案(武藤金吉君提出)
- 第三十四 小學校教員俸給國庫支辨ニ關スル建議案(增田義一君提出)
- 第三十五 帝國在鄉軍人會國庫補助ニ關スル建議案(佐々木春作君外三名提出)
- 第三十六 名古屋ニ綜合大學設置ニ關スル建議案(服部英明君外五名提出)
- 第三十七 蠶絲局設置ニ關スル建議案(加藤知正君外四名提出)
- 第三十八 小樽港鐵道省第二期工事速成ニ關スル建議案(山本厚三君外六名提出)
- 第三十九 小樽港海陸聯絡設備完成ニ關スル建議案(山本厚三君外六名提出)
- 第四十 越中島線鐵道速成ニ關スル建議案(太田信治郎君提出)

- リマス
- (書記官朗讀)
- 一 去十三日貴族院ヨリ受領シタル政府提出案左ノ如シ
- 鑛業法中改正法律案
- 一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
- 替澤品等ノ輸入稅ニ關スル法律案ニ對スル修正案
- 提出者 前野 芳造君
- (以上七月十二日提出)
- 農村振興調查會議設置ニ關スル建議案
- 提出者 猪野毛利榮君
- 北海道土功組合事業助成ニ關スル建議案
- 提出者 黑住 成章君 東 武君
- 松實喜代大君 岡田伊太郎君
- (以上七月十二日提出)
- 肥前山口附近練早間鐵道速成ニ關スル建議案
- 提出者 西 英太郎君 橋本 喜造君
- 中野 實君 福田 五郎君
- 加藤十四郎君
- 佐賀矢部川間鐵道速成ニ關スル建議案
- 提出者 加藤十四郎君 橋本 喜造君
- 西 英太郎君 中野 實君
- 福田 五郎君
- 肥前國鐵道三線速成ニ關スル建議案
- 提出者 川原 茂輔君 則元 由庸君
- 富田應之助君 田口 文治君
- 志波安一郎君 森 肇君
- 北海道拓殖速進ニ關スル建議案
- 提出者 小池 仁郎君 山本 厚三君
- 神部 爲藏君 淺川 浩君

官報號外 大正十三年七月十六日(明治三十四年五月十四日)

副議長(小泉又次郎君) 諸般ノ報告ガア

手代木隆吉君 澤田 利吉君  
根室港修築工事ニ關スル建議案  
提出者

小池 仁郎君 澤田 利吉君  
千代木隆吉君 神部 爲藏君  
山本 厚三君

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案  
提出者

倉元 要一君 高見 之通君  
用排水幹線改良事業費國庫補助増額並補  
助範圍擴張ニ關スル建議案  
提出者

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ  
如シ  
縣稅戶數割賦課ニ關スル質問主意書  
提出者 高田 耘平君

一去年十月貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル  
左ノ議案ニ對シ承諾スルコトヲ議決シタ  
ル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ  
大正十三年勅令第二十一號  
一去年十月貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル  
左ノ議案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ  
受領セリ

震災被害地ノ地租免除等ニ關スル法律案  
(政府提出)  
大學特別會計法中改正法律案(政府提出)  
大正八年法律第十二號中改正法律案(政  
府提出)

古社寺保存金ノ臨時支出ニ關スル法律案  
(政府提出)  
小作調停法案(政府提出)  
砂防法中改正法律案(政府提出)

震災ニ因リ地租ヲ免除セラレル者ノ法令  
上ノ納稅資格要件ニ關スル法律案(政府  
提出)  
一昨十四日政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ  
如シ

衆議院議員今里準太郎君提出外交方針ニ  
關スル質問ニ對スル答辯書  
衆議院議員柏田忠一君提出滿蒙問題並對  
支外交ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員佐藤富十郎君提出政府經營ニ  
係ル森林伐採ニ關スル質問ニ對スル答辯  
書  
外交方針ニ關スル質問主意書  
右成規ニ據リ提出候也  
大正十三年七月三日

提出者 今里準太郎  
贊成者 畔田 明

外交方針ニ關スル質問主意書  
外二九名

一 人種平等主義ニ關シ日本政府ノ採レ  
ル努力ノ經過並今後ノ方針如何  
二 米國以外ノ日本移民地ニ於テ日本移  
民ヲ永遠ニ安住セシムル具體的方針如  
何  
三 日支親善ノ具體策ヲシテ日支間ノ條  
約一部ノ改廢乃至日支同盟ノ意ナキ平  
右及質問候也

大正十三年七月八日  
内閣總理大臣 子爵加藤 高明  
衆議院議長 粕谷義三殿  
衆議院議員今里準太郎君提出外交方針ニ  
關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候  
(別紙)

衆議院議員今里準太郎君提出外交方針  
ニ關スル質問ニ對スル答辯書  
一人種平等主義ハ政府ニ於テ「里會議」提  
出シ不幸ニシテ規約中ニ之ヲ挿入ヲ見  
ルニ至ラザリシト雖モ之ヲ提出ヲ後日  
ニ留保シ其後開催セル「バルセロナ」交  
通會議、「ローザンヌ」會議等ノ國際會  
議ニ於テモ機會アル毎ニ適當ナル形式  
ノ下ニ之ヲ實際上ノ適用ヲ主張シ來リ  
其目的ヲ達セル點モ尠シナラス

一移民ヲシテ外國ニ安住セシムルノ方針ト  
シテハ先ツ移民自身ヲシテ定住ノ意思ヲ  
涵養セシムルト同時ニ其子孫教育、衛  
生ノ増進ヲ便ニシ移民ノ生活上ニ不安  
ナカラシムルコト必要ナルカ就中最モ  
重要ナルハ移住國ヨリ法制上社會上ノ  
迫害ヲ受クル虞ナカラシムルコトニ存  
シ之方爲メニハ移民ノ精神ヲ向上シ移

住國ノ人情風俗ニ融和同化スルコトヲ  
容易ナラシメ且移住地ニ於ケル投資ヲ  
獎勵シ其國民ト共存共榮スルノ覺悟ヲ  
以テ進マシメサルヘカラス政府ハ以上  
ノ方針ニ基テ必要ノ措置ヲ執ル考ナリ  
一政府ハ益々日支親善ノ増進ニ努ムヘキ  
モ之カ爲兩國間ニ同盟ヲ締結セムトスル  
カ如キ意圖ヲ有セス日支條約一部ノ改  
廢ニ關スル質問ニ至リテハ此際何等ノ答辯  
ヲ爲スハ大局ノ利益ニ反スルモノト思考ス  
右及答辯候也  
大正十三年七月十四日  
外務大臣 男爵幣原喜重郎

滿蒙問題並對支外交ニ關スル質問主意  
書  
右成規ニ據リ提出候也  
大正十三年七月五日  
提出者 柏田 忠一  
贊成者 高見 之通

大養進信大臣ニ左ノ質問ヲ爲ス  
大臣ハ滿蒙問題ニ關シテハ頗ル強硬ナ  
ル所見ヲ持セラレ嘗テ本院ニ於テ「臥  
榻ノ傍他人ノ對聲ヲ許サス」ト主張サレ  
タルカ華府會議ニ於テ米國全權「ヒユ  
ーズ」氏ハ日本ノ滿蒙土地商租其ノ他  
ノ權ニ對シ最惠國條款ニ基キ均霑スヘ  
シト宣明セリ大臣ハ尚之ヲ默認スル意  
思ナリヤ

一 幣原外務大臣ニ左ノ質問ヲ爲ス  
イ 支那ト大使交換ノ意思ナキヤ  
ロ 對支治外法權撤廢ノ意思ナキヤ  
ハ 在支邦人義務教育ニ對シ補助金交  
付ノ意思ナキヤ  
ニ 支那初等教育用教科書中ヨリ排日  
的文句刪除ニ付支那當局ニ交渉開始  
ノ意思ナキヤ  
ホ 退支命令ニ關スル明治二十九年四  
月ノ法律第八十號ヲ廢止スルノ意思  
ナキヤ  
右及質問候也

追テ本質問ニ對シテハ來ル七月八日議  
場ニ於テ御答辯アリタシ  
大正十三年七月十四日  
内閣總理大臣 子爵加藤 高明  
衆議院議長 粕谷義三殿  
衆議院議員柏田忠一君提出滿蒙問題並對  
支外交ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差  
進候  
(別紙)

衆議院議員柏田忠一君提出滿蒙問題並對  
支外交ニ關スル質問ニ對スル答辯書  
一 滿蒙問題ニ關シ質問ノ如キ意見ヲ陳  
述シタルコトナシ  
二 (イ)日支間ニ大使ヲ交換スルコトハ  
目下政府ニ於テ考慮中ナリ  
(ロ)支那ノ治外法權撤廢ノ希望ニ對  
シテハ政府ハ友好の精神ヲ以テ之ヲ  
迎フルモノニシテ華府會議決議ノ次  
第モアリ政府ハ支那ノ速ニ司法制度  
ヲ改善シ外國ノ信賴ヲ博シ右撤廢實  
現ヲ見ルニ至ラムコトヲ希望スルモ  
ノナリ

(ハ)政府ハ國民ノ海外發展上在外兒  
童教育完備ノ必要ヲ認メ從來補助ヲ  
與ヘ來レリ然ルニ在留民ノ負擔力ヲ  
以テシテハ逐年就學兒童ノ增加ニ伴  
ヒ教育費ノ膨脹ニ應スル能ハサルヲ  
以テ今後モ財政ノ許ス限リ補助ノ増  
額ヲナシ以テ在外兒童ノ教育上遺憾  
ナキヲ期セントス  
(ニ)支那ニ於ケル小學校中等學校用  
教科書中排日的文句アルコトヲ發見  
セル場合ハ其都度支那當局ニ對シ之  
カ削除方ヲ交渉シ來レルカ今後ニ於  
テモ引續キ機宜ノ措置ヲ執ルヘシ  
(ホ)政府ハ支那在留邦人取締ノ必要  
上明治二十九年法律第八十號ヲ廢止  
スルノ意思ナシ但シ之モ運用ニ付テ  
ハ常ニ慎重ノ考慮ヲ加ヘツ、アリ  
右及答辯候也  
大正十三年七月十四日  
遞信大臣 犬養 毅  
外務大臣 男爵幣原喜重郎



提出者 中村 嘉壽  
賛成者 元田 肇  
外三十五人

外交財政産業ニ關スル質問主意書

一米國ハ最近新移民法ヲ實施シ我カ國民ニ對シテ差別的待遇ヲ爲セリ我カ政府ハ之ニ對シテ如何ナル政策アリヤ

一政府ハ八年増加スル過剩人口ノ處分ニ付何等カノ政策アリヤ

一政府ハ北樺太ノ撤兵ヲ如何ニセムトスルヤ

一輓近銀行支店出張所派出所ノ新設頻頻タリ政府ノ之カ取締方針如何

一近來人造絹絲ノ業頓ニ發達シ我カ産業及貿易ヲ脅威シツツアリ政府ノ對策如何

一監督ノ地位ニアル官吏カ被監督者ノ地位ヲ兼ヌルハ綱紀肅正ヲ濫ルモノト信ス政府ノ所見如何

大正十三年七月十五日

内閣總理大臣 子爵加藤 高明  
衆議院議長 粕谷義三殿

衆議院議員中村嘉壽君提出外交財政産業ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

衆議院議員中村嘉壽君提出外交財政産業ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一新移民法ニ對スル我カ政府ノ對策トシテハ既ニ七月一日日本大臣ノ議會ニ於ケル演說中ニモ述ヘタル如ク政府ハ我カ抗議ヲ維持シ本問題ノ圓滿ナル解決ノ爲メ及フ限リ努力スルモノニシテ如何ナル時機ニ於テ如何ナル方法ヲ以テ右解決ヲ圖ルヘキヤノ具體的問題ニ至リテハ未タ公表ヲナシ得ルノ時期ニ達セ

衆議院議員中村嘉壽君提出外交財政産業ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員中村嘉壽君提出外交財政産業ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員中村嘉壽君提出外交財政産業ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員中村嘉壽君提出外交財政産業ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員中村嘉壽君提出外交財政産業ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員中村嘉壽君提出外交財政産業ニ關スル質問ニ對スル答辯書

行ニ應ジ之ヲ處理セムトス  
一銀行ノ支店設置ニ付テハ銀行條例及貯蓄銀行法ノ規定ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ要スルヲ以テ其ノ認可申請アリタル場合ハ支店設置地方ノ經濟狀況支店設置銀行ノ營業狀態等ニ付最近益嚴密ナル調査ヲ爲シ之カ濫設ヲ防クノ方針ヲ以テ處理シ居レリ銀行ノ出張所派出所ノ設置ニ付テハ銀行條例及貯蓄銀行法ニハ認可ヲ要スル旨ノ規定ナキヲ以テ之ヲ制限スルコト困難ナルモ往々出張所等ノ名ノ下ニ支店ノ實質ヲ有スル營業所ヲ設クルモノアリ之等ニ付テ嚴重ナル取締ヲ爲スハ勿論一般出張所派出所等ノ濫設ノ防止ニ付テモ常ニ之カ注意ヲ怠ラス

人造絹絲之ヲ生絲ニ比スレハ幾多品質上ノ缺點アリ且其ノ用途モ自カラ異ナルモノアリト雖モ最近ニ於テ異常ノ發達ヲ遂ケ其產額ハ生絲ノ約八割ニ達シ品質亦著々改良セラレツツアリ其價格モ生絲ノ三割乃至四割ノ間ニ在リ且生絲ノ如ク若シキ變動ナキヲ以テ勢ヒ歐米機業者ノ需要ヲ増加スルノ傾向アリ依テ我生絲ノ品位ヲ向上シテ一層其ノ特性ヲ發揮シ生産費ノ低減ヲ圖リ價格ノ甚シキ騰貴ヲ防止スル等諸般ノ對策ヲ講スルノ必要アリト認ム

一監督ノ地位ニ在ル官吏カ被監督者ノ地位ヲ兼ヌルコトハ之ヲ避クルノ方針ヲ執リツツアリ

大正十三年七月十五日

内閣總理大臣 子爵加藤 高明  
農商務大臣 高橋 是清  
陸軍大臣 宇垣 一成  
海軍大臣 財部 彪  
外務大臣 男爵幣原喜重郎  
內務大臣 若槻禮次郎  
大藏大臣 濱口 雄幸

衆議院議員中村嘉壽君提出外交財政産業ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員中村嘉壽君提出外交財政産業ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員中村嘉壽君提出外交財政産業ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員中村嘉壽君提出外交財政産業ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員中村嘉壽君提出外交財政産業ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員中村嘉壽君提出外交財政産業ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員中村嘉壽君提出外交財政産業ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員中村嘉壽君提出外交財政産業ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員中村嘉壽君提出外交財政産業ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員中村嘉壽君提出外交財政産業ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員中村嘉壽君提出外交財政産業ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員中村嘉壽君提出外交財政産業ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員中村嘉壽君提出外交財政産業ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員中村嘉壽君提出外交財政産業ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員中村嘉壽君提出外交財政産業ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員中村嘉壽君提出外交財政産業ニ關スル質問ニ對スル答辯書

提出者 堤 康次郎  
賛成者 福田 五郎  
外二十九人

自作農維持創定ニ關スル質問主意書

自作農維持創定ハ目下ノ急務ナリト認ム政府ハ本問題ニ關シ如何ナル成案ヲ有スルヤ

右及質問候也

大正十三年七月十五日

内閣總理大臣 子爵加藤 高明  
衆議院議長 粕谷義三殿

衆議院議員堤康次郎君提出自作農維持創定ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

衆議院議員堤康次郎君提出自作農維持創定ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員堤康次郎君提出自作農維持創定ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員堤康次郎君提出自作農維持創定ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員堤康次郎君提出自作農維持創定ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員堤康次郎君提出自作農維持創定ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員堤康次郎君提出自作農維持創定ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員堤康次郎君提出自作農維持創定ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員堤康次郎君提出自作農維持創定ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員堤康次郎君提出自作農維持創定ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員堤康次郎君提出自作農維持創定ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員堤康次郎君提出自作農維持創定ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員堤康次郎君提出自作農維持創定ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員堤康次郎君提出自作農維持創定ニ關スル質問ニ對スル答辯書

提出者 成田榮信君(上原好雄君補闕)

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス〕

一去年十二日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

衆議院議員選舉法中改正法律案

關 和知君 永井柳太郎君  
三橋四郎次君 中野 正剛君  
栗山 博君 齋藤 隆夫君  
廣岡宇一郎君 工藤十三雄君  
大園榮三郎君 吉良 元夫君  
佐藤 重遠君 岩崎幸治郎君  
石井 謹吾君 熊谷 直太君  
吉田 眞策君 西岡竹次郎君  
兒玉 右二君 松本 君平君

一去年十二月委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

委員長 小西 和君  
委員長 傍士 定次君

理事 廣瀨 徳藏君

委員長 山口 義一君

理事 廣瀨 徳藏君

委員長 廣瀨 徳藏君

理事 廣瀨 徳藏君

委員長 廣瀨 徳藏君

理事 廣瀨 徳藏君

委員長 廣瀨 徳藏君

理事 廣瀨 徳藏君

委員長 廣瀨 徳藏君

理事 廣瀨 徳藏君

委員長 廣瀨 徳藏君

理事 廣瀨 徳藏君

經濟革新ニ關スル質問主意書  
右成規ニ據リ提出候也  
大正十三年七月五日

提出者 竹内友治郎  
賛成者 山本榮太郎

外三十二人

經濟革新ニ關スル質問主意書

現下ノ我力經濟界ハ國難トモ看ルヘキ事  
態ニシテ之ニ對應スル根本方策ノ樹立ハ  
刻下ノ急務ナリト信スルヲ以テ左ノ諸點  
ニ就キ政府ノ所信ヲ問フ  
一 物價勞銀ノ引下ニ就テ  
一 行政財政整理ニ就テ  
一 網紀ノ肅正特ニ民間ノ網紀肅正ニ就テ  
一 社會習慣ノ改造ニ就テ  
右及質問候也

(竹内友治郎君登壇)

○竹内友治郎君 私ハ彙ニ成規ノ賛成ヲ得  
テ經濟革新ニ關スル質問書ヲ提出シテアリ  
マス、茲ニ其趣旨ヲ敷衍シテ陳述致シタイ  
ト思ヒマス、暫ク清聴ヲ乞ヒマス、  
我カ今日ノ容易ナラザル經濟狀態ニ對シマ  
シテ、諸君ト共ニ私ハ深ク憂ク懷ク一人デ  
ゴザリマス、幸ニ政府ガ非常ナル熱心ヲ以  
テ是ガ解決ニ御盡力ニナルト云フコトハ、  
誠ニ心強ク存ズル所デゴザリマス、隨テ是  
ガ解決ノ實行ノ政策ハ、定メテ著々トシテ  
實行サレルコト、信ズルノデゴザリマス、  
ガ、私ハ之ヲ憂フルノ一人ト致シマシテ、  
此重大問題ニ對シテ聊カ感フ所ガアルノデ  
ゴザリマス、同時ニ、内閣諸公ハ臺閣ノ  
高キニ居ラル、所カラ、或ハ民情ノ暢達セ  
ザルモノ是ナシト限ラヌ懸念ガアリマス、  
所カラ、茲ニ卑見ヲ陳述致シマス次第デア  
リマス、此臨時機會ノ慶頭ニ於キマシテ、大  
藏大臣カラ財政經濟ニ對スル政府ノ御方針  
ヲ御示シニナシテ居リマス、其御方針ノ中  
現在ノ此經濟狀態ハ非常ニ難局デアルト云  
フコトヲ先ヅ以テ御認ニナリ、次デ之ニ對  
スル救済ノ根本方針ヲ致サレマシテ、政府  
國民ヲ通ジテ消費ノ一大節約ヲ斷行スル、  
ソレニハ現在ノ此輕佻奢侈ノ民風ヲ一變致  
シマシテ克己節約、勤儉力行ヲ推奨スル、ソ

レニ依テ現在ノ經濟界ノ難問題タル物價、  
産業、國際貸借ノ難問題ハ何レモ解決ガ出  
來ルト信ズルト云フ御趣意デゴザリマス、  
タ、此御趣意ニ對シマシテ私ハ衷心カラ賛  
意ヲ表スル者デハゴザリマス、所デ私ノ感  
ヒマス點ハ、此御趣意ヲ徹底スルニ付テ  
ノ眼目、實ニ此勤儉力行ニ民風ヲ一變スル  
コトガ出來ルカ否ヤト云フコトニ係ルト  
思フノデアアル、而シテ此勤儉力行ハ如何ニ  
シテ徹底トシテ大勢ヲ此處ニ到著サセルカ  
ト云フコトノ實際的政策ガナケレバナラヌ  
ト思フノデゴザリマス、之ニ對シテ大藏大  
臣ハ其實際政策ノ片鱗ヲ御示シニナシテ居  
ルノデアリマス、即チ本員ガ既ニ協賛致  
シマシタル、所ノ警備品ニ關スル關稅引上  
法案、復興貯蓄債券法案ガ即チソレデアリ  
マス、其他將來ニ涉リテ政府ノ財政及行  
政ヲ徹底ノ整理サレルコト云フ御決心、更  
ニ之ニ續イテ統制アル節約ノ一大宣傳ヲ爲  
サルト云フコトガ聲明サレテ居ルノデゴザ  
リマス、是等ノ實際政策ガ國民ニ向テ  
勤儉力行ヲ奨ムルニ於テ相當ノ效果ガア  
ルト云フコトハ、私モ信ズルノデアリマス  
ノ願、果シテソレガ現在ノ此難境タル人心  
ノ頹敗ノ狀態ヲ一變スルマデニ、十分力ア  
リヤ否ヤト云フコトニ付テ私ハ疑ヲ懷ク者  
デアリマス、現在ノ此人心ノ頹敗切切テ居  
ル享樂的利弊主義ノ權化トモ見ルヘキ此大  
勢ハ、如何ニモ傷マシイノデゴザリマス、  
ケレドモ、矢張兎ニ角是ガ大勢デアアル、此大  
勢ガ斯ノ如ク今日馴致サレタ上云フコトハ、  
自ら相當ノ復雜ナル原因ガアッテ然ルノデゴ  
ザリマス、所カラ、單ニ僅カバカリノ方法ヲ以テ  
此大勢ヲ一變スルト云フコトハ、非常ニ至  
難ナ事デアリハシナイカト云フコトヲ私ハ  
懸念スルノデアリマス、一體現在此國民ノ  
大多數ハ、我ガ經濟狀態ガ爾ク行キテ居  
ルト云フコトヲ恐ラク感ジテ居ラナイ、唯  
ミ各個人ガ自分ノ生活ナリ營業ナリノ狭イ  
環境ニ於キマシテ、物價ノ騰貴或ハ商賣ノ  
賣行ノ宜シカラザルト云フ、即チ不景氣ヲ  
唧ツト云フコトハゴザリマセウケレドモ、  
其中ニハ一其内ニハ何トカナルデアラウ

ト云フ位ノ氣分デ居リハシナイカト思ハル  
ルノデアリマス、殊ニ甚シイノニナルト  
隨分有力ナル企業家連中、相當ナル知識ヲ  
備ヘタル人、其連中ノ中ニ於テモ暫ク遠慮  
算段シテ當分ヲ凌グナラバ、自ら好景氣ガ  
轉回シ來ルモノ位ニ考ヘテ居ラヌト限ラナ  
イ、隨テ大藏大臣ガ希望セラル、ガ如キ根  
本的ノ勤儉力行ト云フ、本當ノ奥底ノ觀念  
ニ到著スルヤ否ヤト云フコトガ中々懸念サ  
レルノデアリマス、殊ニ我ガ明治維新以來  
ノ經濟史ハ、サウ云フ何カノ風ノ吹廻シデ  
好イ景氣ガ來ルドラウツト云フコトノ自信ヲ  
附ケサセルヤウニ出來テ居ル、少クトモ十  
年置キ位ニ圖ラズモ好景氣ヲ買ヒ得タノデ  
アリマス、即チ明治二十七八年、續イテ三  
十七八年、ソレカラ最近ノ歐洲大戰ノ際ニ  
於ケル好景氣ガソレデアリマシテ、此何レ  
モ其數年前ニ於テ不景氣ノ谷底ニ墮リテ困  
リ抜イタ擧句ニ、圖ラズモ嵐得タ所ノ好景  
氣デアアル、而モ此好景氣ハ所謂勤儉力行ノ  
末デ嵐得タルモノデハナイノデアリマス、  
斯ウ云フ經驗ニ耽リテ居ル現在ノ國民ガ、此  
度ニ限リテ本當ニ根本的ニ勤儉力行ヲナケ  
レバナラヌト云フコトヲ容易ク理解スルコ  
トヲ望ムト云フコトハ、頗ル無理ナ註文デ  
ハナイカト思フノデアリマス、殊ニ此勞働  
階級ノ如キニ至リマシテハ、今日物價ノ高  
イニハ啣テ居ルケレドモ、之ニ對スル勞銀  
ガ高イ所カラ内心ハ餘程北更突シテ居リ  
シナイカト思フ、隨テ其生活振ヲ客觀シテ  
輕佻奢侈デアルト云ウテ見マシタ所ガ、當  
人等ハサウ信ジナイ、却テ生活ノ向上ナリ  
ト空囁イテ居ルカモ知レヌノデアリマス、  
其悟ラザルノ甚シキニ至ッテハ、詰リ其意味  
ニ於テ民衆ノ多クハ一種ノ道樂息子ニ外ナ  
ラス、之ニ對シテ此道樂息子ガ親兄弟ノ深  
切極マル所ノ意見ヲ空囁イテ聽カナイデア  
ラウト思ヒマス、唯、其息子ヲシテ目醒メシ  
メル所ノ最後ノ動機ハ所謂無イガ意見ノ總  
仕舞デ、金ニ詰テ何トモ途ノ付カナイ時ニ  
於テノミ、始メテ目醒メルノデハナイノデ  
アリマセウカ、是ト同様ノ理窟デ、今ノ民  
衆モ背ニ腹ハ替ヘラレナイト云フ所ノ勢已

ムヲ得ザル境遇ニ到著スルニ非ズンバ、恐  
ラク勤儉力行ニ目醒メルコトハ難クハナイ  
カト私ハ考ヘマス、ソコデ政府ガ執ラレン  
トスル所ノ諸ノ實行政策、固ヨリ可ナリデ  
ゴザリマスケレドモ、更ニ一歩進ンデ本當  
ニ此民衆ヲ目醒メシムルベク、茲ニ最モ痛  
切ナル一大政策ヲ斷行スルノ必要ガアリハ  
セナイカト云フコトヲ私ハ考ヘルノデゴザ  
リマス、ソレハ即チ物價勞銀ノ引下ヲ實現  
スル所ノ大英斷ニ出デルノ外ニナイデハナイ  
カト云フコトヲ私ハ考ヘマス、尤モ大藏大  
臣モ物價勞銀ノ引下ヲ必要トスルト云フコ  
トヲ御認ニナシテ居ルコトハ、數次ノ御聲明  
ニ於テ略シテ之ヲ窺フコトガ出來ルノデアリ  
マス、私ノ考トソコニ少シク距離ガア  
ルヤウニ私ハ感フノデアリマス、大臣ハ勤儉  
力行ニ依リマシテ物價勞銀ノ引下ヲ求メヤ  
ウトスルシ、私ハ物價勞銀ノ引下ニ依リテ勤  
儉力行ニ導カウト、斯ウ云フ順序顛倒ノ差  
異ガソコニ存スルノデアリマス、彙ニ豫算委  
員總會ニ於キマシテ大藏大臣對山本榮太郎  
君ノ經濟振興ニ關スル應答ガゴザリマシタ、  
是ハ此議會ニ於ケル最モ光彩アル頁ノ一ツ  
ト私ハ信ジマス、而シテ其應答ハ實ニ委曲  
精細ヲ極メテ居ルノデアリマス、ガ、私ハ其  
中ニ於テ物價勞銀引下ニ關スル廉ハ、殆ド  
一ツモ見出スコトノ出來ナイト云フコトモ  
亦私ガ此感ヲ深クスル事情ノ一ツデアアル  
デゴザリマス、尙ホ又勤儉力行ノ問題ヲ離  
レマシテ、私ハ此物價勞銀引下ヲ特ニ今日  
ノ急務トスルノ事情ガ別ニ存スルト信ズル  
者デアリマス、ソレハ最近政界ノ具體的問  
題ト化シ來リツ、アル所ノ米價調節ノ問題  
デアリマス、農村ノ振興上到底閉却スルコ  
トノ出來ナイ此米價調節ノ問題は物價勞  
銀引下ノ政策ガ決行セラル、時ニ於テハ、  
極メテ容易ク是ガ解決ノ出來ル問題デア  
ル、若シ之ニ反シテ物價勞銀ガ騰貴シテ居ル  
ト、今日ノ如キ狀態ニ於キマシテハ、殊ニ  
其騰貴原因ガ一是ハ原因多端デゴザリマ  
ス、其重要ナル原因ノ一ツト致シマシ  
テ、金輸出ノ禁ヲ維持スルト云フコトガ、即  
チ物價騰貴ノ重要原因デアアル、今日ニ於キマ

ンアハ、米價調節ノ問題ヲ解決スルコトハ非常ニ困難ニナリテ來ルコトヲ免レスノデス、責任アル政府當局ト致サレマシテ、今日直ニ此金輸出ノ禁ヲ解除コトノ出來ナイト云フ事情ハ、私ハ是ヲ完ニ諒ト致シマス、然レドモ茲ニ考フベキコトハ、金ノ輸出ヲ禁ズルコトニ依リマシテ國民ガ其弊ヲ被ル上ニ於テ、地方ニ依リテ、職業ニ依リテ、ソレガ甚ダ區々マチニテ、アルト云フ一點デアリマス、私ノ論旨ニ必要ナル點ガテハ、米價調節ト云フト斯ウナリマス、金輸出禁止ノ弊ヲ受ケルコトノ最モ輕イモノハ都會デアリマス、是ハ賢明ナル諸君ノ既ニ御承知ノ如クニ、農村ノ生産品ハ直ニ生活ノ必需品ト云フコトニ相成ル所カラ、其數量ヲ内外ノ市場ニ於テ必ズ調節シナケレバナラヌト云フ結果トシテ、如何ニ諸雜貨、勞銀ガ高ノナリテモ、此米價若クハ麥ノ値段ト上ゲルコトハ出來ナイ、之ニ反シテ都會ニ於テハ其生産品タル若クハ商賣品タル諸雜貨ハ、一時ノ彌縫ノ手段デアアルケレドモ、已ムヲ得ズンバ値段ト上ゲテ之ヲ解決スルコトガ出來ルノデゴザリマス、斯ウ云フ事情ノ下ニ金輸出ノ禁止ト云フコトハ、農村ヲ苦メテ都會ニ樂ヲサセルト云フ結果ヲ惹起ス、故ガアルノデゴザリマス、ソレデ大藏大臣ガ示サレタルガ如ク金輸出ノ禁止ヲ解決ト云フコトガ、商工業ノ或ル部分ヲ破壊シ、全局ノ經濟ヲ紊リ、延イテ農村モ其累ヲ被ルト云フコトモ、一ツノ間違ナキ見解デアリマス、ソレトモ、是ト同時ニ金輸出ヲ禁止スルコトニ依リテ、農村ノ利益ノ或ル程度ニ犧牲ニ供シテ、都會ノ商工業ガ小康ヲ食ルト云フコトモ一ツノ理窟ガアルノデゴザリマス、畢竟スルニ大藏大臣ガ既ニ聲明セラレテアル通りニ、金貨本位國ニ於キマシ、孰ヒ已ムヲ得ヌ事デアアルケレドモ、土金ノ輸出ヲ禁止スルコトガ無理ノ制度デアアル、此無理ノ制度ガ更ニ又他ノ無理ヲ生シマシテ、今日此農村ノ救済ノ上ニ於テ、米價調節ヲ否デモ應デモヤラナケレバナラヌト云フ、複雑ナル問題ヲ生ズル所以デア

ルト私ハ思フノデゴザリマス、農民ノミ獨リ此米價テシナク犧牲ニナルト云フコトハ、到底甘ンズル筈ガナイノデゴザリマス、ソレデ私ハ強テ此際金輸出ノ解禁ヲ固執スル譯デアリマス、唯、何カノ方法ニ依リマシテ物價、勞銀ヲ引下ゲル所ノ對策ヲ斷行スルコトガ、我ガ經濟界ニ對シテ非常ニ必要デアリカト云フコトヲ考ヘテ居ルノデゴザリマス、何レノ途ヲ採ルト致シマシテモ、此物價、勞銀ヲ引下ゲルト云フコトハ、種々ナル方面ニ一時惱ミヲ起ス、即チ個人的利害ガ錯綜シテ居ル問題デアリマス、必ズ苦情百出致シマシテ、弱キ政府デアリ底之ヲ斷行スルコトガ出來ナイ、現内閣ノ如キ極メテ有力ナル内閣ニシテ始メテ爲シ得ル事業デアルト私ハ確信スル、今日我ガ經濟界ノ大革新ヲ斷行シナケレバ、此機運ニ際シテ此内閣ノ生レタト云フコトハ、實ニ偶然デアリト思フノデアリマス、或ル意味カラ云フト天ノ使節ヲ擔ウテ生レタモノダト云ウテモ宜シト思フ、私ハ明治ノ經濟史ヲ緝イテ考ヘマスルノデアリマス、明治ノ初期ニ於テ西南戰爭ニ依リ不換紙幣ノ濫發ニ苦シタ擧句、其整理ヲ時ノ當局タル松方公ガ死ヲ決シテ斷行シタト云フコトハ顯著ナル事實一ツデアリ、此斷行ナカリセバ、或ハ明治ノ時代ヲ偉大ナラシメタル日清戰爭モ出來ナカタクモ知ラス、此財政經濟上ノ松方公ノ功績ヲ認メテ、本院ハ曩ニ其國算豫算ヲ可決シタト云フコトハ、私ハ此際ニ於テ、深長ナル意味ヲ持テ居ルト思フノデアリマス、(簡單々々)ト呼フ者アリ、暫ク御聽聽ヲ乞ヒタイモノデアリマス、此松方公ノ功勞ヲ認メタル政府及議會ハ、松方公ノ當時ヨリモ更ニ複雑困難ナル此經濟界ヲ救済スルニ對シテ、松方公以上ノ決心ヲ持テ當然大英斷下サルベキモノデアルト云フコトヲ私ハ信ジタイノデアリマス、ソレデゴザリマス、私ハ物價勞銀引下ト云フ問題ガ、非常ニ困難デアリト信ジ、切ニ此内閣ニ向テ此點ヲ御伺スル次第デアルト云フコザリマス、但シ私ハ其物價勞銀引下ノ具體的對策ヲ、

此際直ニ御答ヲ願フト云フ考ハナイ、斯ノ如キ複雑多端ナル利害關係ノ重大ナル困難ノ問題ヲ、如何ナル俾材ガ局ニ當ルトシテモ、右カラ左ニ成案ガ出來ル筈ガナイ、ドウゾ政府ハ十分ニ御調査御熟慮ニナリテ、具體的ノ成案若クハ綱領ヲ、大藏大臣ノ所謂片鱗ノ小出シデナク「コンクリート」ノモノトシテ御示シテ願ヒタイト思フノデアリマス、デ今日私ガ御答ヲ欲スル點ハ、此物價勞銀引下ノコトヲ今日ノ最大急務ト御認メニナルヤ否ヤ、之ヲ御認メニナルトスレバ、遅クモ來ル十四年度豫算編成ニ際シマシテ、其綱領ヲ天下ニ公ニセラレンコトヲ今日御聲明下サルコトガ出來ルヤ否ヤト云フ點デアリマス、(簡單)ト呼フ者アリ、御迷感デアリマスガ、今一ツ二ツアリマス、次ニハ矢張此經濟ヲ革新スルニ喫緊ノ關係ヲ有スル問題トシテ、社會習慣改良ノコトニ付テ御尋テ致シタイト思フノデアリマス、是ハ濱口藏相ノ提唱サレル勤儉力行ノ美風ヲ興スト云フ上ニモ、重大ナル關係ヲ有スル問題ト自分考ヘテ居ル、私ノ信スル所ニ依レバ、今日ノ經濟界ノ行詰リハ、單ニ最近ニ於ケル歐羅巴大戰後ニ於ケル非常ナル好景氣ニ依リテ、人心頹廢シタ爲メダトバカリ決シテ云フベキモノデアナイト思フノデアリマス、是ハモト更ニ深イ々々所ニ其原因ガ存シテ居ルノデ、極ク手近ニ申スナラバ、明治維新以來我國ノ産業組織ノ上ニ於テベカラザル缺陷ガ固若シテ居ル所カラ、今日ノ經濟界ノ行詰リガ實現シタト私ハ考フベキモノト思フノデアリマス、ソレデ本當ニ今日ノ經濟界ノ根本的ニ改造スルコト云フ以上ハ、此社會習慣ノ惡イ所マデ改造シテ掛ラナケレバ、本當ノ改造ハ出來ナイ、(發言スル者アリ)甚ダ御氣ノ毒デスガ暫ク御清聴ヲ願ヒタイノデアリマス、ソコデ然ラバ如何ナル點ガ社會習慣ノ上ニ惡イカト云フコトヲ簡單ニ申上ゲマスト云フト、現ニ大藏大臣モ申シテ居ラル、所ノ資本ヲ蓄積スル問題、是ガ極メテ重大ナル問題デアルト云フコトヲ、倍テ我ガ社會習慣ハ出來ルダケ、其貯蓄ノ出來ナイヤツ

ナ仕組ニ出來上テ居ル、諸々ノ社會習慣ハ出來ルダケ貯蓄ヲ投ズルニ非ズンバ、世ノ中ニ處シテ行クコトガ出來ナイヤツナ仕組ニナリテ居ルノデアリマス、是ガ即チ貯蓄ヲ十分ニ發達サセルコトノ出來ナイ最大原因デアアル、此事情ハ地方へ行キマシテモ都會ニ於テモ、上流社會モ下流社會モ、其社會習慣ノ爲ニ無益ノ經濟的消費ヲ餘儀ナクスルト云フ事情ガ到處ニ見受ケラレルノデアリマス、何故社會的習慣ガ斯ノ如ク甚シク國民ニ向テ不經濟的消費ヲ餘儀ナクスルカト云フコトハ、結局其社會習慣ヲ形造ル所ノ國民思想、殊ニ根本タル國民道德ノ何所カニ一ツノ深い缺陷ヲ持テ居ルモデアアルト私ハ信ズルノデアリマス、然ラバ其缺陷ハ何デアアルカ、之ヲ詳說致シマスコトハ極メテ御迷感ト存ジマス、出來ルダケ簡單ニ其要領ヲ申上ゲタイト考ヘマス、私ノ信ズル所ニ依レバ、我ガ國民道德ハ何人モ認ムル一大特長タル忠君愛國ハ至極結構デゴザリマスガ、他面ニ於テ富ノ道德的價值ヲ認メナイト云フコトデゴザリマス、之ニ伴フ人間ノ働キ其モノニ對シテ、道德的價值ヲ認メナイト云フコトデゴザリマス、是ガ即チ我ガ道德ヲシテ現代ニ相應ハシカラザル社會習慣ヲ形造ルニ至ラシメタ最大原因ダト私ハ考ヘル、然ラバ如何ニシテサウ云フ事ガ出來上、タカト云フ其由來ヲ申シマス、各々御承知ノ如ク、東洋ノ倫理觀ト云フモノハ、總テノ人フコトニ基礎ヲ置イテ居リマス、總テノ人間ノ慈上云フモノハ、悉ク人間ノ道德性ヲ破壞スルモノデアルト云フ制慾主義ノ立場ニ東洋ノ倫理觀ハ立テ居ル、此倫理觀ハ人間ノ當然ノ本能ヲ否定スルト云フ所カラ、哲理トシテ當然一種ノ無理ヲ含ンデ居ルノデゴザリマスガ、兎ニ角斯ノ如クシテ東洋ノ倫理觀ハ出來テ居ル、然ルニ此倫理觀ガ我ガ國民道德ヲ大成致シマシタル徳川三百年間ニ於テ、輪ニ輪ヲ掛テ高調ヲサレタノデアリマス、ソレハ國民道德ヲ完全ニ築キ上ゲルガ爲ニ高調サレタノデナクテ、徳川幕府自己ノ政策ノ爲ニ高調シタノデアリマ

ス、即チ當時ノ天下ヲ治平ナラシムルノ要道ハ、實ニ幕府ヲ維持スルコト云フ所デゴザリマスル所カラ、天下ヲ舉ゲテ貧乏ニシ、幕府獨リ富ヲ振ルコト云フコトガ政策デアラ、此政策ニ對應スヘク制憲主義ノ道徳ヲ飽クマデモ高調シテデアリマス、ソレデ此點ハ徳川百箇條ノ御覽ニナレバ明カデゴザリマスガ、百姓ハ死ナナイ程度ニシテ食ハセロト云フコトガ明ニ書イテアリマス、是ニ於テカ財ハ決シテ重シズヘカラス、人間ハ必ラズ貧ニ安ズルモノト云フコトヲ教ヘラレタノデアリマス、富ハ汚ナイ、貧乏ハ清イト云フ、即チ濁福清貧ト云フ言葉ガ此時ニ出來テ居ル、此極端ニマデ到達シテ富ト云フモノ、價値ヲ道徳上全ク否定シ去ツタノデアリマス、是デ徳川時代ハサシモ實際ニ於テ差支ナカク、何トナレバ當時ノ社會ヲ支配スル所ノ武士階級ト云フモノハ、悉ク家祿ニ生キテ居ル人デアアル、即チ其主人ガマサカノ場合ニ君公ノ馬前ニ一身分ヲ捧ゲル覺悟サヘアレバ、家族ハ子々孫々ニ至ルマデ警覺此上ナシデアリマス、錢金ノ事ヲ一ツモ考ヘル必要ハナカク、斯ウ云フ状態デアアルカラ、頭カラ富ハ卑シイモノト斥ケ去テ、少シモ實際生活ニ差支ナカク、ソレデアリマス、ソレデハ詰リ徳川三百年ノ間ニ於テ、我が國民道徳ハ富ヲ除外シテノ道徳ヲ打立テタノデアリマス、之ヲ比喩ノニ申シマスレバ、熱ヲ去ルベク、而シテ魚ノ新鮮ヲ維持スベク努メタル氷詰道徳ト云フコトヲ言フコトガ出來ル、其代リ一旦熱ガ取レタガ最期、即チ氷ヲ取去レバ忽チ其魚ハ腐ルガ如クニ、當時ノ武士階級ガ何カノ機會デ富ニ觸レル場合ガアレバ、却テ其人ノ腐敗力ハ強カナク、ソレデアリマス、詰リ富ニ對スル一富ノ毒素ニ對スル抵抗ガ訓練シフナイカラデアアル、是デ徳川三百年ハ宜シカクケレドモ、吾々ハ明治ノ時代ニ突進シテ新時代ニ入リテ來タ、其新時代ハ徳川時代ト違フテ飽マデモ實際ノ必要上、富ヲ求メナケレバナラス時代ニ到著シタノデアリマス、而シテ吾々ノ頭ヲ支配スル所ノ道徳ハ、マダ一富ヲ蔑視ス

ル所ノ道徳ガ支配シテ居ルノデアリマス、即チ道徳觀ト實際觀トガ抵觸シテ居ルノデアリマス、此點ニ付テ明治ノ初メニマダ一一人者タル福澤諭吉先生ガ敢然トシテ富ヲ求メ、金ヲ求メ、口ト云フコトヲ、子弟ニ向テ天下ニ向テ唱道シタコトハ一大卓見デアアル、然レドモ此福澤先生モ國民ノ頭ニ富ヲ否定スルノ道徳、富ニ對シテ抵抗カノ乏シイ國民デアアルト云フ點ハ遂ニ閉却サレタノデハナイカト云フ疑ガアルノデアリマス、ソレデ是ガ實際上ニ於ケル結果ハ如何相成ルカト云フト、從來道徳ニ飽マデ慾ヲ禁ジナケレバナラヌ國民ガ、必要ノ際ニハ飽マデ慾ヲカ、ナケレバナラヌト云フ状態ニテ來タ所カラ、其慾ヲ遂ゲ富ヲ求メル手段ノ上ニ於テ、生活ノ消費ヲ節約スルトカ、生産ノ費用ヲ節約スルトカニ出、極メテ骨ノ折レル方ニ向ハズシテ、出來ルダケ最少ノ努力カ最大ノ效果ヲ求ムト欲スル、所謂奇道方法ヲ以テ産業ヲ營ムト云フ傾向ニ却テ向テデアリマス、之ガ爲ニ産業ノ當面ノ基礎條件タル穩健者實ト云フ分子ハ遂ニ少クナリ、テ來タ所ノ我が産業ハ、畸形ノ發達ヲ遂ゲタノデハナイカト思フノデアリマス、而シテ生活上ノカラ云ヒマスト云フト、今マデ慾ヲ禁ゼラレタ國民ガ、今度ハ慾カラ解放サレタ形ニナリマスカラ、其極點ニ走リ、今日ノ如キ人心頹敗ノ狀況ニモ、直ニ一足飛ニ到著シ得ル素質ヲ持テ居ルノデアリマス、此點ガ改マラザル限りニ於キマシテハ、私ノ信ズル所ニ依レバ、本當ニ現代ニ相應ハシイ健全ナル文明的ノ産業ガ起リ、テ來ナイノハ當然デアアル、ソレガ即チ今日ノ産業ノ行詰リヲ來シタモノト私ハ信ズルノデアリマス、現ニ諸君ハ此忠告愛國ト云フ我が國民道徳ノ特色ガ、ドノ位我が政治社會ヲ組織スル上ニ於テ非常ナル效力ガアルカト云フコトハ、必ズ認メラレテ居ルニ相違ナイ、之ヲ認メル以上ハ富ノ道徳ノ價値ヲ否定スルト云フコトガ、如何ニ今日ノ産業組織ニ影響ヲ及

ボシテ居ルカト云フコトモ、亦當然認メナケレバナラヌト思フノデアリマス(簡單ニオヤリナナイ誰モ聽キマセヌヨ)ト呼フ者アリ(御聽ニナラヌノハ致方ガアリマセヌ)(簡單簡單)ト呼フ者アリ(ソコデ私ハ此經濟的缺陷ヲ改良スル上ニ於キマシテ、支那當局ハ如何ニ教育上ニ付テ經濟振興上御考ニナシテ居ルデアラウカト云フコトヲ伺ヒタイノデゴザリマス(發言スル者アリ)今少シ御清聴ヲ乞ヒマス、一次に私ハ綱紀肅正、殊ニ民間ノ綱紀肅正ニ付テ一言致シタイと思フノデゴザリマス(簡單々々)ト呼フ者アリ)是ハ極メテ簡單ニ申上テマス、既ニ前段ニ申述ベマシタ通りニ、富ニ對スル道徳的價値ヲ否定スルト云フ所ニ民間、殊ニ實業ニ從事スル一切ノ方々ノ精神ナリ、其生活ナリノ上ニ於テ、頗ル大ナル缺陷ガ包藏セラレテ居ルト云フコトヲ思ハザルヲ得ヌノデアリマス、隨テ此綱紀肅正ト云フ問題ハ、統治機關タル官廳ニ向テ要求スル以上ニ、民間ニ向テ更ニ強ク要求シナケレバナラヌデナイカト思フノデアリマス、總理大臣ハ既ニ綱紀肅正ノ事ヲ聲明サレテ居ルノデゴザリマスルガ、此言葉ガ普通ノ意味ニ於テ遂ニ官廳ニ限ラレル傾向ガアルノデゴザリマスルカラ、私ハ民間ノ綱紀肅正ニ向テモ政府ハ果シテ十分ニ手ヲ下サレルノ向テアルヤ否ヤト云フコトヲ御尋致シタイノデゴザリマス(民間ノ綱紀肅正トハドウ云フ事デスカ)ト呼フ者アリ)然ラバ詳細ニ説明致シマセウ(笑聲起リ)モウ宜イ、モウ宜イト呼フ者アリ)御撤回ニナリマス(一最後ニ行政財政ノ整理ニ付テ一言致シマス、行政財政ノ整理ニ付テハ、既ニ政府之ヲ聲明サレテ居ルノデゴザリマスルガ、私ハ其程度ニ對シテ一ツ疑ヲ持ツノデゴザリマス、私ハ現在ノ日本ノ行政狀態ト云フモノハ、制度トシテ國力以上ニ發展シ過ギテ居ルト信ズルノデアリマス、其此ニ到著シタ所以ノモノハ、官民相率キテ協力シテ、行政機關ヲ斯ノ如ク膨脹サシタモノデナイカト思フノデアリマス、行政機關ガ斯ノ如ク國力不相應ニ膨脹シタ以上、之ヲ整理シ刷新ス

ルト云フニ付キマシテハ、姑息的ニ官制ノ第一條、第二條ヲ括クル位ノコトデ到底是ハ改良出來ナイ、根本的ニ組織ヲ改メル程ノ決心ガナケレバ、此行政整理ト云フモノハ私ハ出來ナイと思フ、一ツ例ヲ申上テマスルト云フト、曩ニ西園寺内閣ニ際シテ鐵道國有ト云フ大事業ヲ斷行セラレタ、之ヲ斷行シタ西園寺公ノ御考ハ、必ズ是ハ國家ノ大策デアアルト御信ジニナリヤ、タニ相違ナイ、然レドモ其當時西園寺公ノ下僚三働イテ居ル所謂官僚ノ中ニハ、丁度好イ機會デアアル、由テ以テ大ニ行政機關ヲ擴張シ、人員ヲ殖ヤシテ、威福ヲ張ルニ都合ノ好イ機會デアアルト云フ位ノ考ヲ、恐ラク持テ居ルタ人ガ無カッタト云フ(ナイノデアリマス、總テ斯ウ云フ狀況デアリマシテ、今日マデノ成行ト云フモノハ、出來ルダケ役所ノ機關ヲ大キクシテ仕事ヲ殖ヤシテ、サウシテ威福ヲ張ルト云フコトガエライ人デアリ、ヤリ手デアリ、又一般ノ民間モ之ヲ認メテ大ナル手魔家トシテ傾向ガアツタノデアリマス、且又明治二十年以來ノ制度ノ改革ノ結果デハゴザリマスルガ、法治主義ガ万遍ナク行渡リ過ギマシテ、詳細ヲ極メ過ギマシテ、一カラ十マデ規則ゾクメデアアルカラ、其結果トシテ其規則運用ノ爲ニ、ドウシテモ行政機關ハ膨脹シナイ譯ニ行カナイ、又自治體ノ力ヲ十分認識シナイ、自治體自ラモ自己ノ權威ヲ認メナイト云フ所カラ、當然自治體デヤツテ濟ムベキ仕事ヲ、悉ク舉ゲテ國家ガ干渉スルト云フ風ヲ傾向モ非常ニ強イノデアリマス、又一ツハ明治ノ初メニ於テ、當時出來ルダケ早ク文明ヲ進歩サセヤウト云フ所カラ、個人的ノ所謂苗ヲ助ケテ長ゼシメル上云フ風ヲ傾向ヲ以テマシテ、一カラ十マデ民業ヲ官ガ世話ヲ焼ツト云フ習慣ガ今日マデ繼續シ來タト云フコトガ、是亦行政機關ヲ非常ニ膨脹セシメタ所以デアアル、是等ノ諸弊ヲ舉ゲテ根絶スル程ノ決心ナカリセバ、決シテ此行政整理ヲ根本的ニ、徹底的ニ行フコトハ、出來ナイと思フノデゴザリマス、ソレデ現關ハ此意味ニ於テ行政整理ヲ爲サルモノデアアルカト云フコトヲ御伺シ

タイノデゴザリマス(簡單々々)ト呼フ者アリ

○副議長(小泉又次郎君) 静ニ願ヒマス

○竹内友治郎君(續) 大體私ハ之ヲ以テ略、私ノ要旨ヲ終リマシタ、是マデ諸君ノ御清聴ヲ深ク感謝スル次第デゴザリマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 質問第七、横山勝太郎君

七 議員ノ特權ニ關スル質問(横山勝太郎君外一名提出)

議員ノ特權ニ關スル質問主意書 右成規ニ據リ提出候也

提出者 横山勝太郎 外一名 賛成者 石川安次郎 外三十三名

議員ノ特權ニ關スル質問主意書 憲法第五十三條ニ依レハ議員ノ特權ニ關シ「兩院院ノ議員ハ現行犯罪又ハ内亂外患ニ關ル罪ヲ除ク外會期中其ノ院ノ許諾ナクテ逮捕セラル、コトナシ」ト規定セリ然レテ第四十九回議會召集前ヨリ拘禁セラレタル衆議院議員ヲ未ダ釋放セサルハ議員ノ特權ヲ無視シタルモノナリト認ム政府ノ所見如何

右及質問候也

○横山勝太郎君 登壇前ニ一言確メテ置キタイ事ガアリマス

○副議長(小泉又次郎君) 何デスカ

○横山勝太郎君 此特別議會ノ召集ノ際ニ刑事ノ事案ニ關係ヲ致シテ召集ニ應ズルコト能ハザリシ議員ガ、幾人アルカト云フコトヲ御聽シタイ、尙ホ是等ノ關係ニ依テ召集ニ應ズルコト能ハザリシ議員諸君ニ對シテ、議長ハ議院法第九十九條ニ規定シテアリマス所ノ招狀ノ手續ヲ爲シタルコトアリヤ否ヤ、此二點ヲ一應承テ置キタイ

○副議長(小泉又次郎君) 御答致シマス、現在召集ニ應ゼザル議員ハ多末久米次郎君一人デアリマス、其理由ハ御病氣デアリマス、第二ノ御質問ノ點ニ付テハ何等手續ヲ

致シテ居リマセヌ、此段御答致シマス

○横山勝太郎君 議長

○副議長(小泉又次郎君) 横山勝太郎君(横山勝太郎君登壇、拍手起ル)

○横山勝太郎君 本員ハ議員ノ特權ニ關スル事項ニ付キマシテ、聊カ質問ヲ試ミタイモノデゴザリマスルガ、本員ガ此質問書ヲ提出致シマスル當時ニ於キマシテハ、未ダ召集ニ應ズルコト能ハザリシ議員ガアツタノデアリマス、固ヨリ議員ガ召集ニ應ズルコトガ出来ルカ出来ナイカト云フコトハ、議員ノ特權ノ中デ最モ重大ナル身體ノ自由ニ關スル事項デアリマシテ、輕々ニ默過スルコトノ出来ナイ事柄デアリマス、併ナガラ本日承ル所ニ依リマスレバ、其召集ニ應ズルコト能ハザリシ一人ノ議員ノ御方モ、本日漸ク當席ニ御出席ニナルルノ運ビニナツタサウデアリマスルカラ、私ハ此質問ヲ極メテ簡單ニ致シテ置キマシテ、將來ノ爲ニ司法當局ノ意見ヲ承テ置キタイト考ヘルノデアリマス、意見ノ事項ヲ申上グル前ニ當テ、一言申上テ置キナケレバナラヌ事ハ、此質問ヲ提出致シマシタ當時、吾々ト同志ノ間ニ於キマシテハ、事最モ重大ナル事項デアリマスルガ故ニ、之ヲ緊急質問ノ形式ニ於テ、全院ノ御承諾ヲ得テ至急ニ質問ヲ致シタイ云フ意見モアツタノデアリマス、併ナガラ刑事ノ嫌疑ヲ受ケラレテ、司法裁判所ニ繫屬致シテ居ル關係ニ付テ、立法府カラ或ル態度ヲ執ルト云フヤウナコトハ、或ハ司法府ヲ壓迫スルモノニ非ズヤトノ疑惑ヲ招イテハ、洵ニ吾々ノ不本意トスル所デアリマスルガ爲ニ、其事柄ヲ遠慮致シタノデアリマス、然レドモ吾々立法府ニ居リマスル所ノ者ハ、吾々立法府ノ權利ヲ尊重スルト同時ニ、決シテ行政司法ノ權利ニ對シテ不當ナル干涉壓迫ヲ爲スト云フヤウナ意見ハ毫毛無イ者デアルト云フコトヲ、一言致シテ置キタイノデアリマス、此問題ニ關シテハ第二憲法ノ解釋ニ付テ、司法當局ノ意見ヲ承リタイト思ヒマス、憲法第五十三條ハ、會期中ニ於テ其院ノ許諾ナクシテ議員ハ逮捕セラルルコトナシトノ特權ヲ

認メテ居リマス、此特權タルヤ議員ノ言論ノ自由ト共ニ、立法府ニ籍ヲ持テ居リマスル吾々議員ノ身體ニ關スル最モ重大ナル保障デアリ、殊權デアルト云フコトハ申スマデモナイノデアリマス、然ラバ此憲法第五十三條ノ所謂會期中ト云フコトハ、如何ナル意味ヲ持テ居ルノデアリカト云フ事柄ガ質問ノ要點デアリマス、議會ヲ召集セラレテ、既ニ開院式ヲ了テ適法ニ議會ガ開會アルト云フコトニ該當シマスルカラシテ、議員ノ身體ノ逮捕ノ出来ナイト云フコトハ寸毫ノ疑ヲ容レナイノデアリマス、唯、問題トナルノハ所謂召集前ニ或嫌疑ノ下ニ、被疑者トシテ若クハ被告人トシテ司法裁判所ニ拘禁セラレテ居ル上云フ人ニ對シテ、議會召集同時ニ憲法第五十三條ノ規定ニ依リテ、之ヲ釋放スルコトヲ要スルヤ否ヤ、固ヨリ憲法第五十三條ノ明文ヲ一讀致シマスレバ、會期中議員ハ其ノ院ノ許諾ナクシテ逮捕セラルルコトナシトアルノデアリマスカラシテ、會期ノ以前ヨリ既ニ身體ノ自由ヲ失ヒ、逮捕ト云フ状態ニ在テ所ノ者ハ、此憲法ノ條章ニ違背スルコトハナイト云フ一ノ説ヲ唱フル者ガアリマス、然レドモ法文ノ解釋論トシテ、吾々此點ニ付テ多大ノ疑惑ヲ懷クノミナラズ、寧ろ此憲法ノ條章ノ精神ハ、會期中ニ其院ノ許諾ナクシテ逮捕スルコトガ出来ナイ所ノモノデアリナラバ、會期數日前若クハ數十年前ヨリ逮捕スルト云フコトモ、憲法第五十三條ノ明文ノ明ニ否定スル所デアルト考ヘラレマス、即チ會期中逮捕スルコトヲ得ズト致シマスルナラバ、假ニ其議會ガ會期三週間若クハ一箇月ト云フヤウナ期限デアラタ下致シマス、此憲法第五十三條ノ法文ノ正面カラ申シマスレバ、少クとも其會期ノ間ハ絕對ニ逮捕ヲ爲シ、議員ノ身體ノ自由ヲ奪フコトハ出来ナイコトハ明瞭デアリマス、然レドモ議會ノ召集前僅ニ一日若クハ二日若クハ三日ト云フガ如キ、極メテ接近シタル時期ニ當テ其議員ヲ逮捕スルト云

フコトガアツタト致シマスルナラバ、憲法第五十三條ノ明文ノ精神ニ反スルノミナラズ、實際ノ事情カラ考察致シマスルナラバ、憲法第五十三條ハ少クとも會期タケハ議員ノ身體ニ對シテ自由ノ保障ヲ與ヘテ居ルノデアリ、之ヲ一日二日若クハ三日以前ニ逮捕スルコトヲ許スナラバ、會期以上ノ期間、議員ノ身體ノ自由ヲ奪フト云フコトノ結果ニ相成ルト思料致シマス、此憲法第五十三條ノ規定ハ、突然我ガ帝國憲法ノ明文ノ上ニ規定セラレタルモノニ非ズシテ、議會政治ヲ行フ所ノ先進國ニ於テハ相當ナル沿革ヲ持テ居ルノデアリマス、即チ政争ノ激甚ナル場合ニ於テ政權ヲ持テ居ル黨派ガ、會期ノ切迫シタル一日若クハ二日ト云フヤウナ場合ニ反對黨ノ議員ヲ拘束致シテ、サウシテ議員ノ身體ノ自由ニ妨害ヲ與ヘルト云フヤウナコトヲ憂慮シテ作りタル立法ニ基キ、我ガ帝國ノ憲法ニ於キマシテモ、此明文ヲ掲ゲタノデアリマス、即チ吾々ノ常識上ヨリ之ヲ判斷致シマシテモ、會期中ニ逮捕スルコトガ出来ナイト云フコトデアリナラバ、其一日若クハ二日或ハ一週間ト云フヤウナ場合ニ、之ヲ逮捕スルコトノ惡イト云フコトハ自ら判斷ガ出来ルト思料致シマス、幸ニ我ガ議會政治ノ運用ニ於キマシテハ、未ダ先進國ニ於テ憂慮シタル事柄、若クハ憲法ノ起草者ノ憂慮致シテ居ルヤウナ事柄ハ未ダ經驗ハ致シテ居リマセヌケレドモ、憲法第五十三條ノ律意ノ在ル所ハ、私ハ左様ニ之ヲ解釋シテ然ルベキモノト考ヘテ居リマス、此故ニ議院法第二條ニ於キマシテハ「議員ハ召集ノ勅諭ニ指定シタル期日ニ於テ各議院ノ會堂ニ集會スヘシ」斯様ニ規定致シテ居リマス、固ヨリ憲法ト議院法トノ關係ニ付キマシテハ、此場合ニ於テ詳論スル必要ハ認メマセヌ、憲法ト云フ基本法規ノ下ニ作ラレタル議院法デアリマスカラ、議院法其モノヲ以テ直ニ憲法ノ明文ヲ解釋スルト云フコトハ固ヨリ之ヲ避ケナケレバナリマセヌ、然レドモ憲法ハ第五十三條ニ於テ、議員ノ身體ノ自由ヲ保障シ、而シテ

憲法附屬ノ大法タル議院法ニ於テハ、其第三條ニ於テ召集ノ勅諭ニ指定シタル日時ニ、必ズ一定ノ場所ニ集會スルコトヲ要スルト云フ明文ヲ設ケテ居リマス、而シテ此議院法第二條ノ規定ニ於テハ何等ノ例外ヲ認メテ居リマセヌ、固ヨリ憲法第五十三條其モノガ認メテ居リマスル所ノ現行犯罪、或ハ内亂外患罪ノ如キモノニ對シテハ、憲法ノ明文上逮捕シテ差支ナイト云フコトハ分リマスケレドモ、其他ノ犯罪ニ付テハ憲法ノ明文上何等規定ヲ致シテ居リマセヌカラ、憲法ト同時ニ成立致シタル議院法第二條ニ於テ、若シモ召集以前ニ於テ逮捕ヲ致シテモ差支ナイ、議員ノ身體ノ自由ヲ保障スルノ必要ガナイト云フ意味ヲ認メテ居リマス、即チ議院法ハ何等ノ條件ヲ附セズシテ、各議員ノ會堂ニ集會セヨト云フ期日ニ、必ズ其院ノ會堂ニ集會セヨト云フコトヲ命ジテ居ル點カラ申シマシテモ、憲法第五十三條ノ律意ハ自ラ明瞭デアラウト私ハ考ヘマス、ノミナラズ、憲法第五十三條ノ規定ニ對シテ、會期前ニ逮捕セラレタル議員ヲ召集ノ召集ニ當テ之ヲ解放スルコトヲ必要トスルカ、或ハ必要トシナイカト云フ積極消極ノ說ニ對シテハ、各學者ノ定說ノアルト云フコトモ、賢明ナル諸君ノ御諒解ノ通りデアリマスカラ、私ハ爰ニ述ベマセヌガ、唯ニ角一ノ學考ハ、斯ノ如キ場合ニ於テ之ヲ逮捕スルコトハ不當デアルト斯様ニ解釋ヲ致シテ居ルデアリマス、又先刻ヨリ申シマスルナラバ、第一期ノ議會ニ於キマシテ、東京府選出ノ某議員ガ、恰モ召集ノ際ニ逮捕セラレテ居リタル事例アリ、其場合ニ當衆議院ニ於テハ一議員ヨリ動議ニ提出致シマシテ、假令召集前ニ逮捕セラレタル者ト雖モ、既ニ議會ガ召集セラレテ憲法第五十三條ノ會期ト云フコトニ當ル以上ハ、直ニ之ヲ解放スベキモノデアルト云フコトヲ院議ヲ以テ決定致シテ居ルトテハ、司法大臣ヨリ之ヲ承服シ難イト云フ

意味ノ通牒ヲ爲シテ居ルコトモ事實デアリマス、併ナガラ司法部長獨立ヲ致シテ居ルト同時ニ、我ガ立法部長獨立ヲ致シテ居ルノデアリマス、其獨立致シテ居ル所ノ立法部長ノ先例ニ依レバ、召集前ニ逮捕シタル議員モ、召集セラレタル以上ハ直ニ釋放スベキモノデアルト云フコトノ決議ヲ致シテ居ル以上ハ、此先例ト云フモノハ、我ガ議院ニ於テハ勿論之ヲ尊重スルノ義務ガアルト私ハ考ヘテ居リマス、同時ニ司法當局モ此立法部長ノ先例ニ對シテハ、多大ナル敬意ヲ拂フベキ必要ガアルト私ハ思料致シマス、司法當局ニ向テ此先例ニ降伏セヨトハ申シマセヌケレドモ、此先例ノ由テ來ル法律上ノ解釋、法律ノ精神ノ在ル所ヲ考慮致サレテ、此先例ニ對シテハ大ナル敬意ヲ表セラルベキモノデアルト私ハ考ヘテ居ル、更ニ進ンデ法律上ノ解釋ハ姑ク別問題ト致シマシテ、憲法ノ精神ハ那邊ニ在ルカト云フコトニ付テ、私ハ一言致シテ置キタイト思ヒマス、其第一ハ憲法義解ノ說明スル所ニ依レバ「兩院議院ハ立法ノ大事ヲ參贊ス、故ニ會期ノ間議員ニ與フルニ例外特權ヲ以テシ議員ヲシテ不羈ノ體面ヲ有テ其ノ重要ノ職務ヲ盡スコトヲ得セシメムトス」ト此憲法義解ニ說明致シテ居リマスル所ハ、憲法第五十二條ニ於テ議員ノ言論ノ自由ヲ認メ、第五十三條ニ於テ議員ノ身體ノ自由ヲ保障致シテ居ル其ノ根據ハ、議員個人ノ私權ヲ保護スルニ非ズシテ、議員ノ特權ヲ認ムルコトニ依テ、貴衆兩院ノ面目ト、其重要ナル職務ヲ完全ニ執行セシメテ、而シテ一面ニ於テハ行政、若クハ司法部ノ壓迫ヲ排シテハ行致シタルモノデアルト云フコトガ、私ハ明瞭デアルト考ヘマス、第二ニ議院ニ議席ヲ持テ居リマスル所ノ者ヲ司法官憲ガ逮捕スルト云フコトハ、一選舉區ニ於ケル十方、或ハ十五方ト云フ多數ノ人ノ代表發言ノ權利ヲ、此議會ニ於テ奪フト云フ結果ヲ生ズルト私ハ考ヘル、憲法政治ノ精神ハ全國國民ヲ舉ゲテ、公選ニ依テ選出サラレタル議員ニ依テ、此衆議院ノ壇上ニ於テ發言ノ機會ヲ得ル、又發言ノ機會ヲ得セシム

ルト云フ事柄デアルト信ズル(簡單々々)然ルニ憲法第五十三條ノ明文ニ多少ノ疑義ニ涉ル點ガアルト致シマシテモ、一選舉區ノ住民十方乃至十五方人ト云フ多數ノ人ノ代表發言ノ權利ヲ奪フノ結果ヲ生ズルト云フコトハ、此憲法ノ明文ノ解釋上大ニ考慮セザルベカラザル事項デアルト私ハ考ヘマス、第三憲法政治ノ根本義ノ所謂三權ノ分立ニ在ルト吾々ハ信ジテ居リマス、即チ立法、行政、司法、此三權ガ各法律上ノ權域ヲ持テ、互ニ他ノ權能ニ對シテ不當ナル干渉ヲ爲シ、或ハ壓迫ヲ爲サナイト云フコトガ是ハ重大ナル事項デアルト考ヘマス、然ルニ帝國議會ガ召集セラレテ、其中ノ議員一人若クハ數人ノ者ガ、立法部長獨立ヲ致シテ居ル所ノ司法部長ノ權力ニ依テ逮捕監禁セラレテアルト云フ事柄ハ、司法ノ權力ヲ以テ立法部長ノ權力ヲ壓迫致シタモノデアルト云フ考ガ國民ノ間ニ起ルコトハ、私ハ已ムを得ヌト考ヘル(拍手)斯ノ如キ疑義ヲ起サシメルト云フ事柄ハ、三權分立ノ精神ニ照シテ私ハ不當デアルト考ヘマス、斯様ナル見地ヨリ致シマシテ、即チ法文ノ解釋上、又先例上、又法律ノ精神上、今回ノ如キ特別議會ノ召集セラレマシタ以上ハ、其前ニ當テ司法部ノ權力ヲ以テ逮捕致シテ居テ所ノ者ハ、之ヲ即時ニ釋放スル事柄ガ私ハ立憲のデアリ、又憲法ノ明文ノ要求スル所デアルト斯様ニ信ズル者デアル(拍手)而シテ此機會ニ於テ一言致シテ置キタイト思ヒマス事ハ、前内閣ノ時代ニ於テ總選舉ガ行ハレマシタ、此總選舉ニ當テ前内閣ガ如何ナル干渉ヲ爲シタカト云フコトニ付テハ、吾々同志ノ間ニ於テ相當ナル調査ガ進メラレテアリマス、唯、此總選舉ニ對スル司法部ノ行動ニ對シテハ、此席ニ於テ一言意見ヲ述ベテ置クコトノ必要ガアルト私ハ思料致シマス、即チ今回ノ總選舉ニ當テ選舉法違反ノ事犯ガ起リシ場合ニ、司法部、殊ニ檢察局ハ如何ナル態度ヲ執ラカト申セバ、裁判所ニ向テ起訴シタル事案ガ結果シテ起訴ニ相當スルモノガアルカドウカト云フコトニ付テモ、吾々ハ多少ノ意見ヲ持

テ居ル者デアリマスルガ、併シ是ハ檢察官其人ノ鐵識ニ屬スル事項ナリトシテ、此席ニ於テハ敢テ之ヲ論究致シマセヌ、然レドモ有罪ヲ有罪トシテ檢査シタル後ニ於ケル檢察局ノ態度ハ、甚ダ不可思議千萬ナルモノガアリマス、例(ハ)申セバ一審ヲ無罪ノ判決ヲ受ケタ者ニ對シテ直ニ控訴スル、控訴ニ於テ無罪ニナラタ者ニ對シテ直ニ上告テスル、又一審ニ於テ無罪ノ裁判ヲ受ケタ者ニ對シテ直ニ控訴スル、控訴ニ於テ無罪ノ判決ヲ受ケタ者ニモ直ニ上告スル、何所マデ至檢察局ガ自己ノ所信ヲ貫カシガ爲ニ、執拗ニモ上訴ノ手段方法ヲ以テ、之ガ有罪ノ解決ヲ見ナケレバ已マヌト云フ態度ヲ執テ居ルノハ甚ダ不可思議千萬デアル、固ヨリ刑事訴訟法ノ解釋等ヨリスレバ、檢察官控訴、上告、決シテ法律ニ背イテ居ルトハ申シマセヌ、併ナガラ法律ニ背イテ居ルトハ諸君ガ、果シテ斯ノ如ク執拗ナル態度ヲ執シタカ、サウ云フ經驗ハ斷ジテアリマセヌ、苟モ事實裁判官ガ事實證據ノ審査ノ結果無罪ヲ言渡シタル場合ニ於テ、國家ヲ代表スル檢察局ガ何所マデモ之ヲ有罪トシテ解決ヲ見ナケレバ止マヌト云フ態度ヲ執ルト云フコトハ、私ハ刑事政策上カラ申シマシテモ、甚ダ宜クナイト確信ヲ致シテ居ル、又是マデノ例カラ申シマシテモ左様ナ事ハ無イノデアル、今回我國ノ司法、特ニ檢察局カ常ニ公平ヲ以テ目セラレテ居リ、其態度ハ極メテ嚴明ナルコトヲ以テ國民ノ信賴ヲ受ケテ居ルニモ拘ラズ、今回ノ選舉ニ限テ斯ノ如キ辛辣ナル態度ヲ執ルコトハ、此檢察局ノ背後ニ何者カ大ナル勢力ガアリマシテ、斯ノ如キ現象ヲ生ジタモノデアルト私ハ斷言スルデアル、(拍手)吾々ハ諸君ト共ニ憲法ヲ擁護セネバナリマセヌ、而シテ憲法ノ精神ノ在ル所ヲ尊重致シテ、憲法政治ノ最モ圓滿ニ行ハル、コトヲ希望スル者デアリマス、是ト同時ニ裁判官檢察官モ共ニ是レ我國ノ法律デアリ、我國ノ根本法規デアル所ノ憲法ヲ擁護スルコトハ、吾々ト同一ノ責任デアルト云フコトヲ吾々ハ

考ヘテ居リマス、然ルニ、議會ガ召集ヲセラレテ既ニ會期ハ目睫ノ間ニ迫リテ居ル、殊ニ開會セラレタル議會ガ既ニ三分ノ二以上ノ會期ヲ經過シ、將ニ其會期ヲ終ラントスルニ當リテ、尙ホ依然トシテ憲法上身體ノ保障ヲ持シテ居ル所ノ議員ノ特權ヲ奪フテ、イツマデモ監獄署ニ之ヲ拘禁シテ置クト云フコトハ、憲政ノ破壞ヲ成ラシメ、憲法精神ノ蹂躪ヲアルト私ハ斷言シテ憚ラヌノデアリマス(拍手)或ル議員ニ對シテハ御承知ノ如ク召集日ノ一日前ニ當リテ漸ク保釋ヲ許シテ居ル、或ル議員ニ對シテハ十幾日ノ會期ガ濟ンデカラシメテ保釋ヲ許シテ居ル、或ル一派ノ議員ニ對シテハ今日漸ク之ヲ釋放シタト云フ有様デアル、吾々ハ冒頭ニ於テ申上ゲタル通り、決シテ立法部ノ權力ヲ以テ、司法部ノ權能ヲ壓迫セヨトハ申サナイノデアリ、抑之ヲ先例ニ徵シ、之ヲ今回ノ檢事局ノ態度ニ照シテ攻究致シマスナラバ、吾々ハ司法部ノ行動ニ對シテ、多大ノ疑感ヲ挾マザルヲ得ナイコトヲ此席ニ於テ斷言スルノデアリマス、ドウカ此意味ニ於テ司法大臣ハ是等ノ疑感ヲ解ク爲ニ、憲法精神ヲ明ニシ、且ツ將來ニ於テ、司法部ノ力ヲ以テ、立法部ノ議員ノ特權ヲ蹂躪スルガ如キ非立憲ナル行動ヲ無カラシムル爲ニ、丁寧ナル辯解ヲ得タイト云フコトヲ此席ニ於テ聲明ヲ致シテ置キマス(拍手起ル)

○副議長(小泉又次郎君) 司法大臣橫田千之助君

○國務大臣(橫田千之助君) 憲法五十三條ノ議員ノ特權ニ對スル御質問ハ、立法府ノ問題トシテ重大ナ事デアリマスカラ、親シク茲ニ御答ヲ致シマス、政府ノ見ル所デハ、會期中ニ非ズンバ、無議會議ノ許諾ヲ受ケズシテ逮捕スルコトガ出來ルト考ヘテ居リマス、而シテ會期以前ニ逮捕シタル議員ニ對シテハ、會期始メテ以後ト雖モ、司法權ノ發動ノ必要上已ムヲ得ナイ場合ニ於テハ、之ヲ繼續スルモ差支ナキモノト判斷

シテ居リマス、文字ノ上カラ解釋スレバ勿論デアリマスガ、五十三條ニ議員ノ逮捕ト云フ——今日ハ刑事訴訟法ニモ逮捕ト云フ文字ハ餘リ用キラレマセヌガ、當時ノ治罪法、前ノ刑事訴訟法ニアル逮捕ト云フ言葉ハ、言フマデモナク自由ヲ拘束スルコトデアアル、自由ノ拘束ヲスルコトデアリマスカラ、既ニ自由ヲ奪ハレタ人ニ對シテ特ニ議會ノ承諾ヲ求ムルト云フコトハ、此所デハ必要トシテ居ラヌノデアリ、且ツ外國ノ憲法ナドニ於テモ國ハ忘レマシタガ、特ニ今橫田君ノ御質問ノヤウナ場合ニ於テハ、議院意思ノ表明ガアレバ、即チ議會多數ノ意思ガ會期始メテ以後ニ、其以前ニ逮捕サレタル人ノ釋放ヲ求ムルト云フ意思ガアル場合ニハ、釋放スルコト云フ規定ノアル憲法ガアリマス、帝國憲法ニ之レ無キヲ見レバ、帝國憲法ハ此場合ヲ想像シテ居ラヌノデアリ、沿革上ノ理由ニ付キマシテハ橫田君ノ御説ヲ承リマシタガ、從來ノ帝國ノ政情ハ斯ノ如キ下劣ノ状態ヲ見ナカッタ、且ツ想像シナカッタ、是ガ即チ議員ノ逮捕ト云フコトニ付テ、會期中ニ局限サレタル憲法ガ生レ出タ所以グラウト考ヘルノデアリマス、特ニ又實例ノ上カラ申上ゲマシルト云フト、第一議會ノ實例ハ橫田君ノ言ハレタル通り、幾多其間ニ例ガアリマス、近キ例ニ於テハ四十四議會、遡テ第四十回議會、此議會ニモ斯ウ云フ實例ガアリマシテ、二一ノ方ハ會期中全部御出席ガ無カッタデアリマスルガ、未ダ會テ斯ウ云フ問題ガ提起サレズ、議院ハ司法部ノ此解釋ヲ認メラレタモノトシテ、吾々ハ思料シテ居ルノデアリマス、精神の方面カラノ御話ガアリマシタ——精神解釋、此點カラ考ヘマシテモ無論立法權ヲ尊重致シマスガ、司法權モ大切ナモノデアリマスカラ、此調和ヲ取ル上ニ於テハ丁度此會期中ダケニ於テ、是ダケノ特權ヲ議員ニ與ヘルト云フコトガ適當デハナカラウカト考ヘルノデアリマス、吾々ハ司法部ト致シマシテ、立法府ヲ尊重スル上カラシテ、司法大臣トシテ司法行政權ノ監督ノ働キ出來得ル事ダケハ致シマ

ス、有ユル方法ニ依テ議員ノ權力ヲ尊重シ、此職務遂行ニ妨害ナカラシムルヤウニ最善ヲ盡スコトハ無論覺悟デアリマスガ、憲法上ノ解釋ト致シマシナハ、遺憾ナガラ橫田君ノ御質問ノ趣意ニ副フコトガ出來ヌト云フコトヲ此機會ニ言明致シテ置キマス

○橫田勝太郎君 唯一言致シタイ事ガアリマスカラ、此席カラ御許シテ願ヒマス

○副議長(小泉又次郎君) 了承致シマシタ

○橫田勝太郎君 只今司法大臣ノ御答辯ハ甚ダ不滿ノ點ガ多イノデアリマスガ、併シ議論ニ涉ル事ハ之ヲ避ケタイト思ヒマス、唯、本員ノ聽カントシタ一ノ事項トシテ、先例ヲ重ンジテ貫ヒタイト云フコトヲ詳細ニ述ベテ置キマス、即チ第一期ノ議會ニ於テ、此議場ニ於テ此質問ノ問題トナッテ居ルガ如キ場合ニ對シテハ、之ヲ釋放セラレルモノナリトノ決議ヲ致シテ居リマス、而シテ此先例ハ決シテ今日マデ變更セラレテ居リマセヌ、今日ニ至ルマデ中間ノ議會ニ於テ、或ハ何等動議ヲ起スコトナクシテ經過致シテ居ルト云フコトハ、或ハ司法大臣說明ノ通りデアルガ知リマセヌ、ソレアルガ爲メ第一期ノ議會ニ於テ作ラレタ先例ト云フモノハ、依然トシテ私ハ活キテ居ルト考ヘマス、此先例トドウ爲サルカ、第二ニハ只今最後ノ御答辯ニ依レバ、司法行政ノ手段ニ依テ出來ルダケノ事ハ致スト云フコトノ聲明ヲ得マシテ、本員ハ甚ダ之ニ對シテ満足スル者デアリマス、併ナカラ今回ノ此特別議會ヲ召集セラレタル後ニ於ケル、司法大臣ノ御執リニナリマシタ所謂行政的手段ナルモノニ對シテハ、全然私ハ贊同スルコトガ出來ナイト云フコトハ洵ニ遺憾デアリマス、即チ會期ノ始メテ終ラントスル今日ニ至ルマデ其儘ニ抛擲シテアタト云フコトハ、憲法或ハ法規ノ解釋上、司法大臣ノ御話ノ通り違法デナイカハ知リマセヌガ、立法府ノ面目ノ爲ニ、議員ノ特權ノ爲ニ甚ダ遺憾千方デアリマスカラ、今後ニ於キマシテハ、只今御聲明ノ通り適當ノ手段ヲ執ラレンコトヲ切ニ希望スル次第デアリマス

○副議長(小泉又次郎君) 司法大臣橫田千之助君

〔國務大臣橫田千之助君登壇、拍手起ル〕

○國務大臣(橫田千之助君) 再び御答致シマス、第一回ノ議會ニ於テ斯様ナル事ガアルテ、之ニ議決ノ先例ガアルト云フ仰セデアリマスガ、是ハ既ニ政府ノ憲法上ノ解釋ガ先刻私ガ申上ゲタ通りデアルト致シマスレバ、此解釋ニ副ハザル所ノ先例ニ對シテハ、政府ハ聽從スルコトハ出來ヌノデアリマス、後段御希望ノ點ハ慎シク了承致シマス(拍手)

○作問耕逸君 議員ノ質問ニ對シ政府ヨリ答辯書ヲ受領シタル分ノ意見ノ陳述ハ、前回理由書ノ分共總テ後廻シト爲シ、直ニ日程ノ議事ニ移ランコトヲ望ミマス

○副議長(小泉又次郎君) 作問君ノ動議ニハ御異議ナイト認メマス、左様ニ決シマス日程第一、議員田淵豐吉君懲罰事犯ノ件ヲ議題ト致シマス

第一 議員田淵豐吉君懲罰事犯ノ件 (委員長報告)

○副議長(小泉又次郎君) 懲罰事件ノ議事ハ秘密會ナルニ依リ、傍聽人ノ退場ヲ命ジマス

〔午後二時五十五分秘密會ニ入ル〕

〔午後四時二十八分秘密會ヲ終ル〕

○副議長(小泉又次郎君) 是ヨリ會議ヲ公開致シトス、傍聽人ヲ入場セシメマス、田淵豐吉君ノ入場ヲ許可致シマス——中野實吉君ノ入場ヲ許可致シマス、秘密會ニ於テ議員田淵豐吉君懲罰事犯ノ件ヲ議決致シマシタ、即チ田淵豐吉君ノ懲罰事犯ノ件ハ謝辭ヲ朗讀セシムルコトニ決シマシタ、田淵豐吉君ノ朗讀ヲ命ジマス、田淵豐吉君

〔田淵豐吉君登壇〕

○田淵豐吉君 私ニ今衆議院カラ斯ウ云フ文句ヲ讀メト云フコトデアアル、其文句ハデ

スネ「本員カ大正十三年七月五日ノ本會議ニ於テ議長ヲ罵詈スル言辭ヲ爲シタルハ議院ノ體面ヲ汚シタルモノニシテ議員ノ職分ニ顧ミ慚愧ノ至リニ堪ヘス謹テ誠意ヲ以テ茲ニ陳謝ス」ト云フ文句ダ、實ニ私ハデスナ

○田淵吉君 實ニ私ハ怪訝ニ堪ヘナイ、是ハ斯然トシテ諸君ニ御返シスル、僕ヲ喚問モセズ……  
○副議長(小泉又次郎君) 田淵君、田淵君

○田淵吉君 諸君ハ多數ヲ決シテモ、議長ニ突カレテ非常ナ傷害ヲ受ケタル爲ニ、僕ハ議長ハ厚顔無恥ノ議長デアルト言ウタノガ何ガ不都合デアルカ、諸君ガ院議ヲ以テ之ヲ決シテモ、私ハ此院議ニハ斯然反對スル者デアリマス

○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ願ヒマス  
○秘書會議中ノ件ヲ御報告致シマス、上埜安太郎君外一名ヨリ、中野寅吉君ヲ懲罰委員ニ付スルノ動議ガ提出サレマシタ、又工藤鐵男君ヨリ、原惣兵衛君ヲ懲罰委員ニ付スルノ動議ガ提出サレマシタ、執レモ此兩案ハ留保スルコトニ致シマシタ、御報告致シマス

○志賀和多利君 議長、議長  
○副議長(小泉又次郎君) 志賀君何デスカ(議場騒然)議事進行ニ關シテ發言ノ要求ガアリマス、此場合許可致シマス、東幸治君

(東幸治君登壇)  
○議長(議長ハ蹂躪サレテ居ルデヤナイカ)「議長議場ヲ整理セヨ」其他發言者多ク(議場騒然)  
○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ願ヒマス  
○東幸治君 諸君、私ハ議事ノ進行ニ付テ一言意見ヲ……(議場騒然)私ハ過ル解散サレマシタ所ノ議會ニ初メテ出席シタ者デアリマスガ、當時議場ノ光景ハ既ニ御承知ノ如クデゴザイマシテ、此演壇ニ於テ行ハレマシタ所ノモノハ暴力ヲ用ヒ、腕力ヲ用

ヒ、サウシテ此議場ヲ非常ナ混亂ニ陥ラシクノデアリマス(議場騒然)  
○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ願ヒマス  
○東幸治君(續) 當時私ガ感ジマシタ所ノモノハ何デアアルカト申シマスレバ、議會ト云フモノハ腕力ト暴力ト……(議場騒然)

○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ願ヒマス  
○議長(議長ハ蹂躪サレテ居ルデヤナイカ)「議長議場ヲ整理セヨ」其他發言者多ク(議場騒然)  
○東幸治君(續) 諸君、私ノ信ズル所ニ依リマスレバ、議員ガ各、其言動ヲ慎ミ、以テ議會ノ品位ヲ保持シ、向上シ、而シテ國民ノ信望ヲ會議ニ寄ギ、サウシテ此國民ヲシテ安シジテ自己ノ政治ヲ會議ニ託セシムルト云フコトニ努力スルト云フコトガ、憲政ヲ擁護シ、政黨内閣ノ發達完成ヲ圖ル所以デアルト私ハ信ズルノデアリマス、然ルニ口ニ憲政ノ擁護ヲ唱ヘ、政黨内閣ノ確立ヲ標榜スル諸君ガ——殊ニ憲政會ノ諸君ガ昨今爲シテ、アル所ノ行動ハ果シテドウデアアルカ

(議事進行デハナイ)ト呼ビ、其他發言者多シ(衆ニハ憲政會ノ某有力者ガ、無援孤立ノ境ニ在ル所ノ田淵君ヲ毆打シ、而モ其間題ヲ此壇上ニ於テ得々トシテ辯ジ、又先日ハ武藤山治君ノ其演說ヲ聴カズシテ、片言隻語ヲ捉ヘテ之ヲ懲罰ニ付スルト云フガ如キコトハ、院内ニ於ケル言論ノ自由ヲ束縛シ、之ヲ迫害シ、之ヲ奪取スルモノデアアルト私ハ信ズルノデアリマス(拍手)諸君、斯ノ如キハ果シテ此議會ノ品位ヲ向上スル所以デゴザイマスガ、果シテ國民ノ信望ヲ會議ニ繫グ所以デゴザイマセウカ、果シテ政黨政治ヲ口ニ言フ所ノ議員ノ爲ス所デゴザイマセウカ(何ガ議事ノ進行ヲ呼フ者アリ)之ガ爲ニ議事ノ進行ガ妨ダレテ居リマス、然ルニ政友會ノ諸君ハ、嘗テ吾々

ト苦樂ヲ共ニ致シタ穩健ナル御人物ガ多イ爲ニ、今期議會ニ於テハ其態度海ニ誠意ノ在ルモノガアリマス、然ルニ憲政會ノ諸君ハ其在野ノ當時如何ナル事ヲ爲シタカ、(議事進行ニ何ノ關係アルカ)其他發言者多シ)或者ハ卓ヲ叩キ、或者ハ足ヲ踏鳴シ、或者ハ動物ノ聲ヲ爲シテ

○副議長(小泉又次郎君) 東君——東君注意致シマス……  
○東幸治君(續) サウシテ己レ一タビ其地位ニ就クヤ、衆ニ人ヲ責メタ所ヲ以テ今自ラ之ヲ行ハントスル者ハ何人デアアルカ(拍手)是等ノ事モ此議事ノ進行ヲ妨ゲ、議會ノ能率ヲ増進シナイ所ノ大ナル原因デアルト私ハ思フノデアリマス、殊ニ——殊ニ本日ノ懲罰事犯ノ議事ノ進行中ニ於ケル或人ノ行動ノ如キハ、果シテ如何デアアルカ、私ハ議會解散當日初メテ議場ニ列シタル者デゴザイマス、其議場ノ光景タルヤ暴力ト力、或者ハ「フラスコ」ヲ投ゲ、或者ハ大臣ノ草稿ヲ引裂イテ之ヲ投付ケ(議場騒然)斯様ナ亂暴狼藉ヲ働イタノデアリマス、果シテ今日再ビ之ニ類似ノ事件ヲ見タト云フコトハ、議事進行ノ爲ニ甚ダ遺憾ト感ズルノデアリマス(拍手)殊ニ私ガ遺憾ニ堪ヘマセヌノハ、與黨ノ諸君ガ少數黨ノ有スル唯一ノ武器デアアル所ノ言論ノ自由ヲ壓迫スルト云フコトデアアル(何ガ壓迫)ト呼ビ

議場騒然)證據ガアル——證據ガアル(何ノ證據ガアル)ト呼フ者アリ)本日ノ議事日程ヲ見マスルト、此日程ノ中ニ七名ヨリ質問ガ提出致サレテ居ルノデアリマス、然ルニ此壇上ニ於テ其質問ヲ許サレタル者ハ、政府ノ與黨タル所ノ横山勝太郎君、竹内友治郎君ノ二君ニ過ギナイノデアリマス、然ルニ我黨ヨリハ三輪市太郎君ヨリ農村救濟政策ニ關スル質問、原惣兵衛君ヨリ國民思想ニ關スル質問、中村嘉壽君ヨリ外交財政産業ニ關スル質問ハ出テ居ルノデアリマス、私ノ承ル所ニ依リマスレバ、原則ト致シマシテ質問者ハ此壇上ニ於テ之ヲ爲シ、政府當局亦此壇上ニ於テ之ニ答フルト云フノガ原則デアルト承テ居リマス(發言スル者多

シ)諸君ガ然ラバ何故ニ此火曜日ヲ以テ質問日ト定メタルデアアルカ、議員ヲシテ自由ニ此壇上ニ質問ヲ爲サシメ、政府當局者ヲシテ此壇上ニ於テ之ニ答辯ヲ與ヘル爲ニ、特ニ火曜日ヲ以テ質問日ト定メテアルノデアリマセヌカ(發言スル者多シ)然ルニ拘ラズ斯様ナ事ヲ爲サルト云フコトハ或ル程度——或ル程度ニ在野黨ノ言論ヲ制限スルモノデアルト私ハ考ヘルノデアリマス(拍手)若シ——若シ議長ニシテ議員ガ其言動ヲ慎ミ、議會ノ品位ヲ向上シ、國民ノ信念ヲ會議ニ繫グト云フコトニ御同感デゴザイマスナラバ、是等ノ人々ニ付十分ナル警告ヲ與ヘテ賞ヒタイノデアリマス(發言スル者多シ)若シ之ガ爲ニ國務ヲ滯滞シ、議事ノ進行ガ圓滑ニ參ラズシテ、サウシテ議會ノ能率ガ擧ガラナイト云フコトニナリマスナラバ、此責任ハ憲政會諸君及其他ノ與黨ガ負フベキモノナリト私ハ信ズルノデアリマス、之ニ就キ議長ノ御意見ヲ承リタイ(拍手)

○横山勝太郎君 議長  
○副議長(小泉又次郎君) 横山君何デスカ  
○横山勝太郎君 田淵吉君ニ對スル懲罰事犯ニ付テ、直ニ是ヨリ委員會ヲ開キタウゴザイマス、御許可ヲ求メマス(贊成)ト呼フ者アリ)

○副議長(小泉又次郎君) 許可シマス  
○横山勝太郎君 懲罰委員ノ方ハ懲罰委員室ニ御集リテ願ヒマス  
○副議長(小泉又次郎君) 只今東君ヨリ議事進行ニ關シ議長ニ御質問ガアリマシタカラ、御答ヲ致シマス

(「謹聽」ト呼フ者アリ)  
○副議長(小泉又次郎君) 何デスカ  
(「謹聽」ト呼フ者アリ)

○副議長(小泉又次郎君) 東君ハ議員諸君ヨリ提出サレタル質問書ニ對シテ、政府カラ答辯書ノ參シタモノガアリ、又各辯書ノ來ラザルモノニハ、大臣自ラ出テ之ニ説明ヲ與ヘル、其説明ヲ與ヘタノハ單リ與黨ノ議員ノミデアアル、他ノ者ニハ答辯書ヲ送テ居ルコトハ、如何ニモ是ガ偏頗デアルト云フノ御意見デアッタヤウニ思ヒマスル、議員ノ質

シ)諸君ガ然ラバ何故ニ此火曜日ヲ以テ質問日ト定メタルデアアルカ、議員ヲシテ自由ニ此壇上ニ質問ヲ爲サシメ、政府當局者ヲシテ此壇上ニ於テ之ニ答辯ヲ與ヘル爲ニ、特ニ火曜日ヲ以テ質問日ト定メテアルノデアリマセヌカ(發言スル者多シ)然ルニ拘ラズ斯様ナ事ヲ爲サルト云フコトハ或ル程度——或ル程度ニ在野黨ノ言論ヲ制限スルモノデアルト私ハ考ヘルノデアリマス(拍手)若シ——若シ議長ニシテ議員ガ其言動ヲ慎ミ、議會ノ品位ヲ向上シ、國民ノ信念ヲ會議ニ繫グト云フコトニ御同感デゴザイマスナラバ、是等ノ人々ニ付十分ナル警告ヲ與ヘテ賞ヒタイノデアリマス(發言スル者多シ)若シ之ガ爲ニ國務ヲ滯滞シ、議事ノ進行ガ圓滑ニ參ラズシテ、サウシテ議會ノ能率ガ擧ガラナイト云フコトニナリマスナラバ、此責任ハ憲政會諸君及其他ノ與黨ガ負フベキモノナリト私ハ信ズルノデアリマス、之ニ就キ議長ノ御意見ヲ承リタイ(拍手)

問書ニ對スル政府ノ答辯ニ關シテ、議長ハ此間何等ノ偏頗ノ處置ハ致シテ居リマセヌ(拍手)適當ノ處置ヲ執リテ居ルノデアリマス、而シテ辯明書ノ參リマシタル其議員ノ諸君ノ意見陳述ハ、諸君ノ同意ヲ得マシテ、議事日程ノ終了後ニ於テ悉ク之ヲ發言ノ順序ニ依リテ許可スルコトニ致シテアリマス(拍手)此段御答ヲ致シマス、(拍手)日程第二、鑛業法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス

第二 鑛業法中改正法律案(政府提出 貴族院送付) 第一讀會

鑛業法中改正法律案

第八十條 鑛業權者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ鑛夫カ業務上負傷シ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタル場合ニ於テ本人又ハ其ノ遺族ハ本人ノ死亡當時其ノ收入ニ依リ生計ヲ維持シタル者ヲ扶助スヘシ

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(政府委員池田宏君登壇)

○政府委員(池田宏君) 只今上程ニナリマシタ鑛業法中改正案ノ事ニ付キマシテ、提案ノ理由ヲ説明申上ゲマス、本案ハ鑛業法中坑夫ノ業務上負傷致シマシタリ、或ハ疾病ニ罹リ、若クハ死亡致シマシタル場合ニ於キマシテ、鑛業權者ガ坑夫ニ對スル扶助ニ關スル規定ヲ改正致サウト云フノデアリマス、鑛業權者ガ坑夫ヲ扶助致シマスル規定ニ於キマシテハ、丁度現行法ト同ジヤウナ規定ガ工場法中ニモアッタノデアリマスルガ、昨年ノ議會ニ御協賛ヲ經マシテ、丁度今回改正ヲ致サウトシテ提案ヲ致シテ居リマスルガ如クニ、工場法ノトキト同ジ規定ガ改正ヲ致サレテ居リマスルノデ、是ト權衡ヲ取リマシテ、全ク工場労働者ト同ジ關係ニ在リマスル坑夫ニ對スル扶助ノ事デアリマスルカラ、工場ノ労働者ト鑛業ノ労働者トノ間ノ權衡ヲ保チマシテ、同ジヤウニ改正ヲ致シタイト云フノ趣旨デアリマス、又扶助ノ原因ニ關シマスル現行ノ制限

ニ改正ヲ致シ、又扶助ヲ受クベキ者ノ範圍ヲ擴張致シマシテ、労働者保護ノ實ヲ擧グルニ努メタイト云フ趣旨デアリマス、何卒御審議ノ上速ニ御協賛ヲ給ハランコトヲ希望致シマス

○副議長(小泉又次郎君) 日程第三、右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第三 右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○佐間排逸君 本案ハ委員ノ數ヲ九名トシ、議長ニ於テ指名セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(小泉又次郎君) 作問君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○副議長(小泉又次郎君) 作問君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、其通りニ決シマス、御諮議ヲ致ス事ガアリマス、第一都選出、懲罰委員清瀬一郎君、右常任委員辭任ノ申出ガアリマス、許可スルニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ガナケレバ許可致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補關選舉ヲ行ヒ、議長ニ出席アランコトヲ望ミマス

一 日程第四、所得稅法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス、提出者菊池謙二郎君

第四 所得稅法中改正法律案(菊池謙二郎君提出) 第一讀會

所得稅法中改正法律案

第十六條第一項中「不具痾疾者」ト下ニ「又ハ中學程度以上ノ學校在學者」ヲ加ヘ、同項第一號乃至第三號ヲ左ノ如ク改ム

一 所得千圓以下ナルトキ 年齡十八歳未満若ハ六十歳以上ノ者又ハ不具痾疾者 一八二付百圓

中學程度以上ノ學校在學者 一八二付二百圓

二 所得二千圓以下ナルトキ 一八二付二百圓

同 一八二付七十圓  
同 一八二付五十圓  
三 所得三千圓以下ナルトキ 一八二付百圓  
同 一八二付五十圓  
同 一八二付百圓

(菊池謙二郎君登壇、拍手起ル)

○菊池謙二郎君 只今上程サレマシタ所得稅法中改正法律案ノ提出理由ハ極メテ簡單デゴザイマス、御承知ノ通り近時少年、青年ガ優越觀念ヨリ、或ハ向學心ヨリシマシテ中學校、若クハ是ト同等ノ學校並ニソレ以上ノ學校ヘ入學スルコト非常ニ多クナリマシタ、此趨勢ハ抑ヘントシテモ抑ヘルコトガ出来マセズ又舊來日本ノ風トシマシテ、向學ノ子弟ニ衣食ヲ節シテモ之ニ學費ヲ給助スルコト云フコトガ美風デアリマス、然ルニ目下物價ガ非常ニ高クアリマシテ、又之ニ要スル學費モ非常ニ多クデアリマス、假令物價ノ低廉ナル地方ニ於キマシテモ、中學生ノ學費ト父兄ノ負擔ト云フモノハ決シテ輕クナイノデアリマスカラシテ、ドウガ其負擔ヲ輕減シタイト云フヤウナ希望カラ、所得稅法第十六條ニ改正ヲ加ヘマシテ、千圓以下ノ所得ニ對シマシテ、若シ本人並ニ子弟ガ中學以上ノ學校ニ入學スル者ガアリマシタトキハ、一人ニ付テ二百圓、二千圓以下ノ所得者ニ對シマシテハ同ジク百五十圓、三千圓以下ノ所得者ニ對シマシテハ同ジク百圓ト云フ額ヲ控除シマシテ、所得稅ヲ免ジ、或ハ輕減スルト云フコトニシタイト云フ目的デアリマス、御承知ノ通り所得稅ノ中ニハ委託生ト留學生ト云フ者ノ學費金ハ、所得額ヨリ業ニ既ニ控除サレルコトニナリテ居リマス、此權衡カラ見マシテモ、本案ヲ提出スルノハ實際ノ上ニ於テ、今申ス通り權衡ノ上ニ於テモ最モ理由ノアリコトト考ヘルノデアリマス、ドウカ諸君ノ御贊成ヲ得マシテ成立スルヤウニ御願致シマス

○作問排逸君 本案ハ議員森田金藏君提出、營業稅法廢止法律案ノ委員ニ併セ付託セラレタイ、尙ホ同時ニ其委員ノ數ヲ特ニ

十八名ニ増加セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(小泉又次郎君) 作問君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナシト認メマス、左様ニ決シマス、日程第五農村振興ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス、川原茂輔君

第五 農村振興ニ關スル建議案(床次竹二郎君外十七名提出)

農村振興ニ關スル建議案

農村ノ興廢ハ國運ノ消長ニ關スル最大ナルモノアリ然ルニ今ヤ疲弊其ノ極ニ達セリ國家ノ爲海ニ深憂ニ堪ヘズ本院ハ曩ニ農村振興ノ建議ヲ爲シ切ニ其ノ對應施設ヲ望ミタルニ現内閣施政ノ方針中一言ノ農村ニ及ナシ政府ハ速ニ適當ノ對策ヲ樹テ之カ振興ノ實ヲ承クヘシ

右建議ス

(川原茂輔君登壇)

○川原茂輔君 諸君、私共同志ガ提出致シマシタ農村振興ニ關スル建議案ノ説明ヲ申上ゲタイト存ジマス、本問題ニ對シマシテハ、曩ニ内閣ノ施政方針ニ關スル質問ノ場合ニ於テ、又豫算討論ノ場合ニ於テ、其他幾多ノ場合ニ於テモ、此農村振興ノ必要ニシテ缺クベカラザル所ノ應答及辯論ハ凡ソ盡シテ居ルノデアリマス、特ニ説明ヲ申上ゲル事モアリマセヌカレドモ、大體ニ於テ二三ノ點ニ付テ提案ノ理由ヲ説明シテ、諸君ノ御贊同ヲ願ヒタイト存ジマス、明治維新以來幾多ノ問題ニ對シマシテハ、或ハ保護獎勵ヲ爲シ、若クハ多大ノ國帑ヲ費シテ以テ、其事業ノ進展ヲ圖リマシタコトハ多々アルノデアリマス、而シテ特ニ此農村ノ問題ニ對シマシテハ、遺憾ナガラ他ノ諸問題ト比較スレバ甚ダ冷淡デアッタト云フコトハ事實デアアル、近頃或ル博士ノ說ナゾニ依リマスレバ、今ヨリ二十五年ノ後、即チ大正三十八年頃ニ至レバ、從來ノ生産者ノ比較ヨリシテ段々生活上ノ問題ニ移リマシテ、今六十方石乃至七十方石アレバ國民ノ生活ニ必

要ナル數字デアリマスケレドモ、此在來ノ増加ノ率ヨリシテ三十七八年ノ頃ヲ論ズレバ、一億方石ト云フ米ヲ作テナケレバナラヌト云フ議論モアルノデアリマス、然ラバ如何ニシテ國民ノ生活ノ安定ヲ維持セシメルカト云フコトハ、今ヨリ大ニ國家ノ問題トシテ討究ヲセナケレバナラヌコト、存ズルノデアリマス、口ヲ開ケバ農村ハ疲弊ノ極點ニ達シテ居ル、之ヲ救済スルコトガ必要ナリト云フコトハ何人モ論ズル所、而シテ今日ノ農村ノ實際ヲ調ベマスレバ、口先バカリノ宣傳ヲ以テ、農家ノ疲弊ヲ醫スルコトハ出來ナイノデアリマス、故ニ給ニ描イタル美酒佳肴ヲ以テ、農村生活ノ安定ヲ期スルコトハ出來ナイノデアリマス、即チ實際ニ之ヲ行ヒ、而シテ眞ニ農村ノ疲弊ヲ救済セナケレバナラヌノデアリマス、農務省ノ獨立ノ如キハ數年來ノ懸案デアアル、又農家ノ副業ヲ獎勵スルト云フコトモ是モ年來ノ懸案トシテ、之ヲ實行シナケレバナラヌコトハ當然デアリマス、今ヤ農家ノ副業中ニ於テモ特ニ乳牛ノ如キハ、年々歳々増加ノ一方ニ傾イテ居ルノデアアル、然ルニ此間ノ關稅改正案ノ如キハ、即チ農家ノ副業タル乳牛ノ獎勵ノ一大頓挫ヲ與ヘル結論ヲ呈スルナドト云フコトハ、所謂給ニ描イタル美酒佳肴、口先バカリノ宣傳、眞ニ農家ノ疲弊ヲ救済スルノ意思アリヤヲ疑フノ已ムヲ得ザルニ至ラヌ、ハ、遺憾トスルノデアリマス、茲ニ申上ダ、又此本案ノ說明中ニモ書イテアリマス、通リ、現内閣ノ施政ノ方針ノ中ニ於テ、一言ノ此事ニ及バザリシハ甚ダ遺憾千萬デアアル、又此建議案ハ即チ七月二日ニ提出シタノデアリマス、然ルニ延ビ々々ニナッテ、今日ノ最早會期剩ス所三日ノ今日マデ付議セラレヌデ來ラレタト云フコトハ、即チ進行ヲ阻ル所ノ與黨諸君ノ責任トシテ、斯カル遷延ヲシテ此問題ノ實現ヲ遅カラシメタコトハ、政府トシテ即チ與黨諸君トシテ負ハナケレバナラヌノデアアル、若シ諸君ニシテ眞ニ意思アレバ、既ニ是マデノ中ニ屢、機會ハ到來シタノデアアル、是ハ議長トシテ其處置ノ不

當ヲ遺憾トシ、與黨諸君ガ此問題ニ冷淡ナルコトヲ遺憾トスルノデアアル、今日ノ問題ハ即チ國家ノ問題トシテ、是ヨリ大事ナ問題ハ無イ、之ニ向テ眞ニ熱烈ニ此問題ノ進展ヲ圖ラントスルモノハ、即チ我黨ガ魁ヲシテヤテ行カナケレバナラヌノデアリマス、滿場一致トハ行クマイガ、セメテ過半數ノ賛成ヲ得テ(此時私語スル者多シ) ○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ ○川原茂輔君(續) 本案ノ通過ニ努力セラレンコトヲ希望シマス ○副議長(小泉又次郎君) 本案ニ對シテ、贊成演說ノ通告ガアリマス、浦野謙朗君

〔浦野謙朗君登壇〕 ○浦野謙朗君 私人本建議案ニ對シマシテ、贊成ノ意見ヲ努メテ簡單ニ附加ヘタイト思ヒマス、我國ハ古來農業ヲ以テ立國ノ大本ト致シマシテ居リマス、今更私共ガ喋々ヲ要セザレバ、農業ハ有ユル總テノ産業ノ基礎デアリマシテ、國家經濟ノ原動力デアルト思ヒマス、故ニ其消長ハ直ニ國家ノ隆替ニ關スルモノデアリマス、農業ノ發達ニ伴ヒマシテ、商工業ノ隆盛ヲ促シ、此兩者ガ相對峙シテ、立國ノ鞏固ヲ確立スル上云フコトガ、最モ適當ナル國是デアラウト考ヘマス、殊ニ農業ハ國民食糧ノ供給者ト考ヘマス、殊ニ農業ハ糧供給ノ獨立ヲ爲シ得ザル國民、食糧ニ於テ、獨逸國ノ全敗ヲ御覽ナサイ、又其食糧ノ大部分ヲ國外カラ供給シテ居リタノ所ノ英國ガ中途自給策ニ焦慮致シマシタノヲ見マシテモ、實ニ明白ナル事實デアリマス、飢我我國ノ主要食糧タル米ノ産額ヲ見マスルニ、年々三百万石乃至五百万石ノ不足ヲ告ゲテ居ルノデアリマス、然ルニ其價格ハ依然トシテ低位ニ在リマシテ、農家經濟ノ收支ヲ償フコトガ出來マセヌ爲ニ一日農村ハ不振、農村荒廢ノ聲ヲ高クシテ居ルノデアリマセヌカ、農家ハ難儀ヲシテ米ヲ作り、而シテ財産ヲ減ラシ、負債ヲ増スト

云フ今日ノ狀態デアリマス、近來農民ガ豊年ヲ呪フト云フヤウナ現象ヲ呈シマスノハ、國家ノ爲ニ由ラシキ大事デアラウト考ヘマス、諸君、農村ノ狀態ハ十年一日ノ如ク何等ノ發展ヲ見ザルノミナラズ、却テ衰亡ニ走リツ、アルノデアリマス、然ルニ都市ノ膨脹ハ如何、商工業ノ發達ト共ニ、文化的施設ハ獨リ都市ニ於テ行ハル、ガ故ニ、農村ノ子弟モ都市ノ物質的文明ニ誘ハレテ、年々農村ヲ棄テ、都市ニ走ル者ノ多キ傾キヲ漸次増加致シマシテ、農村ハ愈々荒廢スルノデアリマス、私ガ十年前ニ斯様ナル俗語ヲ聞イタコトガアリマス、田舎見ルナラ今出テ見ヤレ、今ニ野トナリ山トナルト云フ俗語ヲ聞イタコトガアリマス、ソレガ今日實現シテ居ルノデアリマス、彼ノ美田ガ草原トナリ、或ハ山林トナリツ、アルノデアリマス、今ニ於テ、是ガ根本救済策ヲ施サナカクナラバ、遂ニハ國家ノ危殆ニ導クモノデアラウト信ジマス、現農商務大臣高橋氏ハ、曾テ農務省ノ獨立ヲ言明シ、食糧ノ自給ヲシタイト申サレタヤウニ聞イテ居リマス、又過般ノ總選舉ニ於キマシテ、何レノ黨派タルヲ問ハズ、農村ニ關係ノアル代議士諸君ハ、其主義政見ヲ發表スルニ當リマシテ、農村振興策ヲ急ナルコトヲ發表サレテ、選舉區ニ普ハレタコト、信ジテ居リマス、而シテ今回有力ト稱スル聯立内閣ガ出來、就中元總理大臣高橋氏ハ主義ノ爲ニ私情ヲ捨テ、農相ノ椅子ニ甘ンゼラレタト云フコトヲ聞キマシタル吾々農民ハ、願ル敬意ヲ以テ——農村ノ爲ニ多大ナル期待ヲ以テ臨ンダノデアリマス、然ルニ特別議會ノ擧頭ニ於テ施設ノ方針中ニ、一言モ農村振興ニ及バナカッタト云フコトハ吾人其意外ニ驚カザルヲ得ナイノデアリマス、今日疲弊困憊其極ニ達シテ居ル農村、而モ國家社會上ニ、宗教上ニ、教育上ニモ、將タ財政上ニモ、重大ナル關係ヲ有スル此農村問題ニ一言モ及バナカッタト云フコトハ、洵ニ長大嘆息ヲ禁ズル能ハザル者デアリマス、諸君、大震災復興ノ費用ハ實ニ十數億圓ヲ計上サレテ、御互ハソレ

ヲ協賛シタノデアリマス、固ヨリ帝都並ニ國家ノ重大ナル諸機關ノ復興ヲ計ル費用デアリマスガ故ニ、國民ハ忍ンデ之ニ服從スル者デアリマス、恰モ急性病タル震災ノ復興ハ之ヲ救済シ、慢性病タル農村復興ハ之ヲ拾テ、顧ミザルト云フガ如キハ、國家ノ爲ニ實ニ重大ナル事デアリマス、之ヲ速ニ是ガ救済策ヲ講ゼラレントスル此建議案ニ對シテ、衷心ヨリ賛成ノ意ヲ表スル所以デアリマス(拍手)

○作問耕逸君 本案ハ議長指名、特ニ二十七名ノ特別委員ニ付託セラレンコトヲ願ヒマス ○副議長(小泉又次郎君) 作問君ノ動議ニ異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕(異議ナシト呼フ者アリ) ○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナシト認メマス、作問君ノ動議ノ如ク決シマシタ、日程第六、農村振興ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス、提出者東武君——東君ハ取消シマス、高田耘平君

第六 農村振興ニ關スル建議案 (東武君外十六名提出) 農村振興ニ關スル建議案 今ヤ農村ハ疲弊困憊ノ極ニ達シ各種ノ社會問題惹起シツツ有リ此ノ際ニ當リ適當ナル方策ヲ講スルニ非サレハ遂ニ農村ハ滅亡シ國家ノ基礎ヲ危フスルニ到ルヤ必セリ仍テ政府ハ這般ノ事情ニ鑑ミ速ニ左ノ各項ノ實現ヲ圖リ以テ國本ノ培養ニ勉ムヘシ

一 農務省ノ獨立  
二 農家負擔ノ輕減  
三 米穀法及關稅率法ノ改正  
四 自作農ノ維持及創定  
五 農業金融ノ充實  
六 農業倉庫ノ普及及充實  
七 農業教育ノ改善  
八 義務教育費國庫負擔ノ増額  
右建議ス

一 農務省ノ獨立  
二 農家負擔ノ輕減  
三 米穀法及關稅率法ノ改正  
四 自作農ノ維持及創定  
五 農業金融ノ充實  
六 農業倉庫ノ普及及充實  
七 農業教育ノ改善  
八 義務教育費國庫負擔ノ増額  
右建議ス

一 農務省ノ獨立  
二 農家負擔ノ輕減  
三 米穀法及關稅率法ノ改正  
四 自作農ノ維持及創定  
五 農業金融ノ充實  
六 農業倉庫ノ普及及充實  
七 農業教育ノ改善  
八 義務教育費國庫負擔ノ増額  
右建議ス

〔「簡單々々」ト呼フ者アリ〕  
〔高田松平君登壇〕

○高田松平君 只今演壇ニ登ラナイ中ニ簡單ト云フ御話ガアリマシタガ、決シテ簡單ニハヤリマセヌ、緩クリヤリマス、只今農村振興ノ建議案ノ説明ガ、政友本黨ヲ代表シテ川原茂輔君ヨリ此演壇ニ於テ述ベラレマシタガ、如何ニモ簡單ナル御説明デゴザイマス、勿論問題ハ非常ナル重大問題デゴザイマス、其振興ノ必要ナル理由等ニ付キマシテハ、大抵盡サレテ居ルコト、存ジマス、世間或ハ農村振興ノ問題ヲ以テ、唯、議員ガ選舉ノ時ニ之ヲ選舉民ニ手形トシテ發行シタノデアアルカラ、建議案ヲ出スノデアアル、議場ニ於テ熱心ニ之ヲ主張スルノデアアルトノ誤解ヲ懐ク人モアルヤウニ思フノデアリマス、而シテ又過敏ノ施政方針ニ對スル演説ニ對シテモ、又豫算總會ノ時ニ於テモ、政友本黨ノ諸君ヨリ熱心ナル質問ガアリマシタガ、其質問ノ内容ヲ拜見スルト、何レモ半バ彈劾的ノ言葉デアリマシテ、何故ニ現在ノ農村ヲ振興シナケレバナラヌカト云フ事ニ付テハ、一言モ御話ガ無イヤウニ私ハ思フノデアリマス(拍手)本日ハ川原總務ニ依テ其理由ガ判然ト聲明サレルカト豫期シテ居リマシタル所ガ、矢張極メテ簡單ナモノデ、何故ニ振興シナケレバナラヌカト云フコトニ付テ、一言モ御話ニナシテ居ラヌコトヲ遺憾トスルノデアリマス、(私語スル者アリ)

○副議長(小泉又次郎君) 私語ヲ禁ジマス  
○高田松平君(續) 勿論問題ハ急要デアアル、内容ヲ言ハストモ宜シイカモ知レヌケレドモ、私ハ其内容ヲ詳シク申上ゲルコト云フコトガ、何ヨリモ適當ナル事デアルト固ク信ズルノデアリマス、唯、政府ガ何故ヤラヌ、才前ハ何故ヤラヌト云フ彈劾的ニ御話スルダケデハ徹底シナイノデアリマス、故ニ私ハ其何故ニ振興シナケレバナラヌト云フコトニ付キマシテ、大要ヲ申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、農村ノ問題ノ我國ニ重要ナル問題デアルコトハ申上ゲルマデモ

ナイ、隨テ大正七年以後農村問題ノ解決トシテ制定サレタル所ノ二ツノ法律ガアルノデアリマス、其一ツハ大正七年、所謂米暴動ノ後ヲ承ケテ、時ノ原内閣ガ制定シタル所ノ開墾助成法デアリマス、所謂耕地ノ大擴張ヲ爲スノ案デゴザイマシタ、併ナガラ此法律ハ現在ノ所ニ於キマシテ其豫期ヲ裏切ラレマシテ、我國ノ耕地ハ米麥ノ耕作反別ハ大正三年ト大正十二年トヲ比較スルト云フト、二十方町歩耕作反別ガ減少シタノデアリマス、故ニ開墾助成法案ハ其目的ハ極メテ結構ナモノデアラタケレドモ、大正九年以後米價其他ノ生産物ガ非常ニ下落シタ結果ノ爲ニ、殊ニ小麦ノ大下落ノ爲ニ、米麥ニ對スル我が耕地ノ面積ハ十年間ニ二十方町歩ヲ減少シタト云フコトハ、統計上争フヘカラザル事實デアリマス、又大正十年ニ大正九年ノ所謂經濟界ノ反動時期ノ後ヲ承ケテ、米價ガ非常ニ下落シタ故ニ、之ヲ何等カノ方法ヲ以テ救済シナケレバナラヌト云フ理由ニ依テ、所謂米穀法ガ制定セラレタノデアリマス、併ナガラ此米穀法モ單ニ數量ノ調節ニシテ、利害ヲ置イタ立法デアルガ故ニ、加之既ニ農商務當局ガ常ニ其運用ヲ消遣者本位ノ上ニ置キ、ソレガ爲ニ米穀法ガ施行サレタ爲ニ、生産者タル農民ハ却テ不利益ナル状態ニ陥レテ居ルコトハ、現在ノ我國農界ノ事情ヲ知ル人ノ總テ一致シタル結論デアルト思フ、其結果ト致シマシテ、此二ツノ立法ガ世界戦後農村問題ノ解決ノ一端トシテ制定セラレタル法律ト致シマシテ、極メテ結構ナモノデアラタケレドモ、其結果ハ豫期ヲ裏切ラレタコトヲ私ハ遺憾トスルノデアリマス、故ニ私共ハ何トカシテ本問題ノ解決ノ爲メ適當ナル施設ヲ爲サナケレバナラヌト存ジ、茲ニ政府ニ向テ數項ヲ掲ゲテ之ガ實行ヲ要求スル所以デアリマス、吾々ノ掲ゲタル問題ノ大部分ハ、帝國經濟會議ニ於テ決議致シタモノ、又農政協會ノ決議ノ中ノ主ナルモノヲ採ラタノデアリマス、而シテ吾々ガ掲ゲタル項目以外ニ於テ、我國ノ輸出品ノ大宗タル養蠶問題、或ハ副業獎勵ノ問題、更ニ進

ンテハ林業ノ發達ノ問題等々多クゴザイマスケレドモ、吾々ハ其施行シタル政策ノ範圍ガ極メテ廣汎ニシテ、而シテ其結果ガ直接國民ノ利益ニ重大ナル關係アルモノニ就テノミヲ數項掲ゲタノデアリマス、決シテ養蠶ノ問題、林業ノ問題、副業獎勵ノ問題ヲ等閑ニシタルモノニ非ズト云フコトヲ御了承テ願ヒタイノデアリマス、倍テ農村ノ疲弊、ドツ云フ事ガ此農村ノ疲弊デアルカ、是ハ農村ノ人ハ十分知ッテ居ルノデアリマス、都會ノ人ハ知ラヌ人ガ多イカト思ヒマスカラ、ソレヲ簡單ニ申上ゲタイト思フ、第一我國ノ總戸數ニ對シテ、農家ノ戸數ガ割合ニ減ッテ居ルノデアリマス、即チ總戸數ノ増加ニ對シテ割合ニ農家ノ戸數ガ増加シナイト云フコトガ一ツノ事由デアリマス、殊ニ自作農ガ年々減ル、一箇年ニ約一万二千戸宛ノ比例ヲ以テ自作農ガ減ッテ居ルノデアリマス、第三ニハ農民ノ負擔、否、農民ノ土地ヲ抵當トシタル所ノ債務ノ年々増加スルコトデゴザイマス、其増加ノ程度ヲ調ベテ見ルト云フト、勿論ハ勸業銀行ニ於テ調ベタモノデアラフテ、其全部ガ農業者ノ債務デアリナイノデアアルケレドモ、大體ニ於テ先ヅ以テ農業者ノ債務ト見ルコトガ出來ルノデアリマス、大正四年度ニ於テ其額ガ十四億方圓デアラフカ大正十一年度ノ終リニ於テハ三十六億方圓トナシテ居ル、大正九年度、十年度、十一年度ト年々五六億方圓宛ノ比例ヲ以テ債務ノ増加スル割合ヲ見ルト云フト更ニ大正十二年ニ於テハ恐ラク四十二億圓ニ達シテ居ルコト、思フノデアリマス、斯ノ如ク農家負債ノ増加ト云フ事柄ハ、極メテ農村ニ對シテ容易ナラザル問題デアルト思フノデアリマス、更ニモウ一ツハ前申上ゲマシタ通り、米麥ノ耕作反別ノ減少ト云フコトデアリマス、即チ大正三年ト大正十二年トヲ比較スルト云フト、此十箇年間ニ於テ米ノ耕作反別ハ十方町歩増シマシタガ、麥類ノ耕作反別ハ三十方町歩減ジタノデアリマス、差引米麥ノ耕作反別ニ於テ、十箇年間ニ二十方町歩ヲ減少シタト云フ事柄ハ、是亦容

易ニ見通スヘカラザル事デアルト思ヒマス、此統計ハ農商務省ノ發表シタモノデゴザイマス、一點モ誤ガ無イヤウデゴザイマス、更ニ又田畑ノ價格ノ非常ニ下落セシコト、小作爭議ノ各所ニ頻發スルコト、又農業者ノ子弟ガ其職ヲ厭ッテ都市ニ集マリ、商工業勞働者トナル者ガ、農業者ノ子弟ノミナラズ、村落ニ在ル相當有力ナル農家ガ、全部其財産ヲ賣拂ッテ都市ニ集中スルト云フ現象モ明ニ現レテ居ルノデアリマス、之ガ爲ニ起ル問題ハ、所謂農民ガ一般ニ農業ヲ嫌フ、喜ンデ其職ニ從事シナイ半面ニ於テ、政府ニ對シテ政府ノ政策ノ甚ダ農民ニ對シテ冷淡ナルコトニ對シ、怨嗟ノ念ヲ絶タザルコト云フ狀況ニ在ルノデアリマス、斯ル實狀ヲ呈シタル其根本ノ理由ハ何デアアルカト云ヘバ、農業ト云フモノガ所謂收支均衡ヲ得ルコトノ出來ナイ産業ニ相成、タカラデアルレ、即チ米ヲ耕作スレバ損ヲスル、麥ヲ作レバ尚ホ損ヲスル、爾ヲ取ッテ見テ一年位ハ好イコトモアツタガ、多クノ場合ニ於テハ損デアアル、斯ウ云フコトガ大體ニ於キマシテ、其他ノ事由モゴザイマセウケレドモ、大體ニ於テ農民ガ其職ヲ厭フト云フコトニナシテ、生活ノ安定ヲ得ナイコトニ陷ラ原因デアリマス、或ハソノ事ハ又委員會デ述べロト御シヤルカ知レマセヌガ、私ハ此所デ申上ゲマス、今茲ニ大正十一年ノ一段歩當リノ生産費及右當リノ生産費ヲ調ベテ見ルト云フト、是ハ全國二十府縣ノ米ノ生産地ニ就テ帝國農會ガ調査シタル結果デアリマス、即チ段當リノ米ノ生産費ハ、自作農ニ於テハ百圓九十五錢、自作農兼小作農ニ於テハ九十九圓十八錢、小作農ハ九十四圓七十錢、更ニ之ヲ一石當リニスルト、生産費ハ自作農ガ平均三十七圓二十六錢、自作兼小作農ノ平均ガ三十六圓三十二錢、純然タル小作農ノ一石ノ生産費ガ三十四圓二十一錢、斯ウ云フ計數ガ出ルノデアリマス、然ルニ上記二十府縣ニ於ケル所ノ玄米一石ノ平均價額ハ如何ト調ベテ見ルト、二十九圓三十五錢デアアル、即チ生産費ヲ米ノ最低價格ト見マスレバ、其自

作農ニ於キマシテハ一石ニ付テ七圓九十一  
錢、自作兼小作農ニ付テハ一石ニ付テ六圓  
九十七錢、小作農ニ付テハ一石ニ付テ四圓  
八十六錢ト云フ缺損ヲ求スノデゴザイマ  
ス、斯カル一是ハ米ニ付テノコトデア  
ケレドモ、若シ大麥、小麥ニ付キマシテノ  
詳シキ計算ヲ致シマシタナラバ、是レ以上  
非常ニ損害ガ一損害トハ申シマセヌガ、  
損ヲスルコト、思フノデゴザイマス、諸君、  
都市生活ト農村生活トノ比較ニ於キマシテ、  
都市生活ヲ人間ガ厭フコトハ、是ハ自然ノ  
情デアルト思フ、併ナガラ農村生活ト云フ  
モノハ都市生活程便宜ヲ得ルコトモ出來ズ、  
娛樂機關モ無ク、極メテ不自由千萬ナモ  
デアルケレドモ、生活ノ安定ト云フモノハ  
比較的ハ曰、デハ農民ニアツタノデアリマ  
ス、所ガ世界戦争以後、殊ニ大正九年以後  
ノ經濟界ノ變動ノ結果ハ、只今申上デマシ  
タ通りニ米ヲ作レバ損ヲスル、麥ヲ作レバ  
損ヲスル、藪ヲ取レバ損ヲスルト云フコト  
ニナツタ結果、農村生活ト云フモノガ極メテ  
安定ヲ得ザル産業ニ相成リタト云フ事柄ハ、  
是ハ由々シキ大事デゴザイマシテ、即チ農  
村疲弊ノ根源ガソコニ生ズルコトヲ私ハ非  
常ニ憂フル者デアリマス(拍手)然ラバ何故  
斯様ニ算盤ガ採レナクナ、タカト云フコト  
ヲ私茲ニ申上ゲナケレバナラヌノデゴザイ  
マス、其理由ハ色々アラ申上ゲマスケレド  
モ、先ヅ主ナルモノヲ申上ゲマスルコト云フ  
ト、斯ウツ事ガ現レテ居ルノデゴザイマ  
ス、是ハ勸業銀行ノ調査デゴザイマス、大  
正二年ノ即チ世界戦争當時ト其後ヲ通ジテ  
ノ農産物ノ價格ト、其他ノ日用必需品ノ價  
格ト云フモノヲ調ベテ見ルト云フト、割合  
ニ米ノ價、其他農産物ノ價格ト云フモノガ  
割安ニナリテ居ルノデゴザイマス、其數字ハ  
ドウ云フ風ニ現レテ居ルカト云ヘバ、之ヲ  
先ヅ東京ニ於ケル有ユル品物ノ物價指數ヨ  
リ割出シタモノニ依リテ見レバ、米ノ購買力  
ニ付テ申上ゲレバ、大正三年ニ百デアリシ  
米ノ購買力ハ、大正四年ヨリ大正十一年マ  
デ通ジテ此八箇年間ニ減少シテ八十五三下  
落シテ居ルノデゴザイマス、藪ニ付テモ、其

通り、大正三年ヲ百ト致シマスレバ、其後  
大正四年ヨリ大正十一年マデ通ジテ八年間  
ノ藪ノ購買力ハ、八十五ニ相成テ居ル、更  
ニ農産物ノ全體ノ購買力ヲ調ベテ見ルト云  
フト、大正三年ノ購買力ガ百ト致シマスレ  
バ、其後八年間通ジテノ購買力ハ八十九デ  
ゴザイマス、斯ノ如ク外ノ物價ノ騰貴率ニ  
對シ、米麥其他農産物ノ價格ノ騰貴率ト云  
フモノハ伴ハナイト云フ事柄ハ、是ハ數字  
上ニ現レタルコトデゴザイマス、此事實即  
チ外ノ日用必需品ノ價格ト農産物ノ價格ト  
ガ、比例シナイ狀態ニ陥リタト云フコトガ、  
是ハ農家ノ經濟ガ收支均衡ヲ得ルコトノ出  
來ナイ一ツノ理由デアルト思フ、更ニモウ  
一ツハ勞働賃銀ト農産物ノ價格ノ事デゴザ  
イマス、大正三年ノ男子ノ勞働賃銀ヲ百ト  
假定致シマスレバ、大正十一年ノ男子ノ勞  
働賃銀ハ三百デアリマス、即チ三倍デアリ  
マス、女子ノ勞働賃銀ハ、大正三年ヲ百ト  
致シマスレバ、大正十一年ハ三百五十デゴ  
ザイマス、即チ男女通ジテノ大正三年ト大  
正十一年トノ勞働ノ比較ヲスルト云フト、  
三倍二分五厘デアル、是ハ農業勞働者ニ付  
テノ調査デゴザイマス、然ラバ農産物ノ價  
格ガドウナリタカト云フコトヲ調ベテ見ル  
ト云フト、大正三年ノ農産物ノ價格ヲ百ト  
云フ指數デ示セバ、大正十一年ノ農産物ノ  
價格ハ二百九十九デアリマス、即チ勞働賃銀  
ハ男女通ジテ三倍二分五厘ニナリタケレド  
モ、重要ナル農産物ノ價格ハ二倍一分九厘  
デアルト云フコトデゴザイマス、此點ガ又  
農業ト云フモノガ、收支均衡ヲ得ルコトノ  
出來ナイ産業ニ相成リタト云フコトヲ立證  
スルモノデアラウト思フ、更ニ又負擔ノ方  
面ヨリ考ヘルト云フト、國稅タル地租ニ於  
キマシテハ勿論増加致シマセヌ、併ナガラ  
地方稅ノ激増シタルコトハ、或ハ農村ノ或  
ルモノハ地方稅其他ヲ通ジテ一倍半トナリ、  
甚シキハ三倍半ニナリテ居ルモノガアルト  
思フノデアリマス、即チ負擔ノ増加ト勞働  
賃銀ノ増加、而シテ農産物ノ價格之ニ伴ハ  
ズ、更ニ日用必需品ノ品物ト農産物ノ  
價格ト云フモノ、絆ハナイト云フ此エツノ

理由ガ、所謂農家經濟ヲシテ收支均衡ヲ得  
セシメザル根源デアルト私ハ思フノデアリ  
マス、然ラバ何故斯様ニ相成リタカ、大正  
三年ヲ百ト致シマシテ、其後通ジテ八年間  
日用品ト農産物トノ比較ガ、何故割安ニナ  
リタカト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌト  
思フノデアリマス、之ヲ斯ウ云フ風ニ申上  
ゲルコトガ大シタ過ハ無イト私思フノデア  
ル、勿論日用必需品其總テニ付テ、此處デ  
論斷スル譯デアハリマセヌガ、先ヅ酒ト煙  
草ニ付テ申上ゲテ見マセウ、是ハ所謂財政  
上ノ結果ヨリ此ニ至リタモノデアルト思フ  
ノデアリマス、即チ大正七八年ノ如キ、米  
一石四十圓ノ時モ或ハ二十五圓ニナリタ  
一石四圓ノ價ハ同ジデアリマス、故ニ米一  
升デ大正七八年ニハ或ル煙草ニツ買ヘタモ  
ノガ、米ガ下落シタ結果ハ、所謂其半分ノ  
煙草シカ買フコトガ出來ナイ狀態ニナリ  
ノデアリマス、故ニ此米ト煙草ノ比較ニ付  
テハ、此問題ニ付テハ、大正七八年ヨリハ  
現在ノ米ノ購買力ガ半分ニナリタト云フコ  
トニ言ヘル、即チ此煙草ガ政府專賣ニアラ  
ズ、普通ノ産業デアリマシタナラバ、大正  
七八年頃ハ上リタカ知リマセヌ、一層上  
リタカモ知ラヌ、現在外ノ物價ノ下リタ場合、  
今日以上煙草ノ價格ガ下ラナケレバナラ  
ズ、是ハ國ノ財政上ノ政策ノ上ニ於キマシ  
テ、煙草ニ依テ、一億數千方圓ノ金ヲ得ナ  
ケレバナラヌト云フ爲ニ、如何ニ米穀ノ價  
段ガ下落シテモ、煙草ノ値段ヲ下ゲナイノ  
デゴザイマス、即チ此財政上ノ結果ト致シ  
マシテ、煙草ニ對スル米ノ購買力ガ殆ド半  
額近イモノデアル、酒ニ付キマシテモ是ト  
同一ナル理由ガアルノデゴザイマス、酒モ  
米ガ下リ、勞働賃銀ガ下レバ、其割合ニ下  
ラナケレバナラヌノデアル、ケレドモ、其  
割合ニ下ラヌノハ何デアルカ、一石ニ付テ  
三十何圓ト云フ税金ヲ取ラレナケレバナラ  
ズ、酒ノ原料タル米ガ暴落シテモ、酒ハ決  
シテ其割合ニ下ラヌ、此二ツノモノ、酒ト  
煙草ニ對スル國民ノ消費如何ト顧ミマス  
ト、約十二億方圓ニ達シテ居ルト存ジマ  
ス、更ニ又織物ノ原料タル綿絲及肥料、砂糖

等ニ付テ、ドウ云フ關係ニ相成リテ居ルカ  
ト申シマス、是等ノ重要ナル物、殊ニ肥  
料ノ如キ物ニ付テハ、農業ノ必需品デア  
ル、ソコデ是等ノ品物ガ割合ニ下ラヌ、何  
故下ラヌカト云フト、例ヘバ綿絲ヲ產出ス  
ル紡績會社ガドウ云フ事ヲスルカ、若シ綿  
絲ノ下落ニ依テ非常ニ會社ガ損害ヲ被ラン  
トスル虞ノアル場合ニ於テハ、綿絲ヲ製造  
スル會社ハ、價格ノ協定ヲ爲シ、或ハ生産  
ノ制限ヲ爲シテ、利益ヲ保護シテ居ルコト  
ハ事實デアラウト思ヒマス、私ハ又肥料ニ  
付テモ、完全ニ價格ノ協定或ハ生産ノ制限  
ハ出來マセヌガ、肥料製造業者ハ度々是等ノ  
決議ヲ爲スコトモ事實デアリマス、又砂糖  
等ニ付キマシテモ、價格ノ協定等ヲ爲シ  
テ、成ベク價格ノ暴落ヲ防グ事實ガアルノ  
デアリマス、即チ農民ニ最モ必要ナル肥料  
及木綿織物ノ原料タル綿絲、砂糖ト云フヤ  
ウナ重要ナル必需品ハ、是等ヲ製造スル所  
ノ會社ノ所謂協議ニ依リテ、生産ノ制限ヲ  
爲シ、或ハ價格ノ協定ヲ爲シ、賣止メヲ爲  
ス故ニ、是等ノ品物ガ經濟界ノ單純ナル事  
情ヨリスルコト下ラヌ、モウ少シ下ラヌケレ  
バナラヌモノガ下ラヌト私ハ思フノデアリマ  
ス(拍手)即チ此酒、煙草、織物、肥料、砂  
糖、是等ノ重要ナル物ノ國民ノ消費如何  
ト顧ミレバ、約三十億圓ニ達シテ居ル、此  
物ハ前申上ゲマシタル通り、財政上ノ理由  
及之ヲ製造スル會社ガ、自分ノ利益ヲ圖ル  
爲ニ、生産制限及價格ノ協定ヲ爲ス爲ニ、  
比較的價格ヲ維持スルコトガ出來ルケレド  
モ、併ナガラ農業者ノ產出スル米及麥藪等  
ニ於キマシテハ、到底是等ノ事ヲ爲シテ之  
ニ對抗スルコトガ出來ナイノデアリマス、即チ  
日用必需品ハ價格ハ下ラヌデモ、米穀ノ價  
格ハ割安ニナリタト云フ結果ハ、此ニ在ルト  
私ハ思フノデアリマス、ソコデサウ申上  
ゲマス、此酒ト云ヒ、煙草ト云ヒ、其  
他織物ト云ヒ、砂糖ト云ヒ、勿論是ハ農  
民ニバカリ必要ナル物デアライ、如何ナル  
人モ必要ナル品物デアリマス、故ニ只今ノ  
重要ナル品物ノ價格ノ維持ヲセラル、事  
柄ニ付テハ、其打擊ハ無論農民バカリデナ

ク、一般國民ノ受クル所ハ明カデアレケレドモ、ソコテ俸給衣食者及労働者ハドウナテ居ルカト云ヘバ、俸給衣食者ハ大體ニ於テ、既ニ物價ノ騰貴シタル状態ニ應ジテ、俸給ノ引上ヲ爲シ、衣食ニ決シテ困ラナイノデゴザイマス、又労働者モ相當ニ賃銀ガ引上テアルカラシテ、日用必需品ガ上テ居、テモ、生活ニ困ラナイノデゴザイマス、然ラバ一般工業者ハドウカト云フト、絶対的トハ申上テマセヌガ、大體ニ於テ其一家ノ支出ノ物價ノ騰貴ニ依テ増加シタル其額ヲ、之ヲ自分ノ産出スル品物、或ハ販賣スル品物ニ轉嫁シ易イ營業状態ニ相成テ居ルノデアリマスカラシテ、物價ノ騰貴ニ依テ自分ノ家ノ生計費ガ上レバ、ソレダケ全部トハ申上兼テマセケレドモ、兎ニ角自分ノ産出スル品物、或ハ賣出スル品物ニ對シテ、其生計費ノ増額シタダケトハ言ヒマセヌケレドモ、抄ナクモ轉嫁スルコトノ自由ガアルノデゴザイマス、所ガ農業者ハ直接ニ到底此必需品ガ暴騰シタカラ、ソレガ爲ニ一家ノ生計費ガ増加シタラ、之ヲ産出スル所ノ賣物ニ轉嫁スルコトノ出来ナイ状態ニ在ルコトハ明カデアリ、日用必需品ノ騰貴ニ依テ受クル所ノ生活ノ壓迫ハ勿論國民全般ノ受クル所デアルケレドモ、然レドモ其中ニ農民ガ最も困難ナル状態ニ陥レル、慘境ニ在ルト云フコトモ、是亦決シテ詐ラザル所ノ告白デアルト私ハ思フノデアリマス、加之前モ申上デマシタ通り、米穀法ノ運用ガ極テ消費者本位ニ運用サレルノデアアル、即チドウ云フコトデサウ云フ話ヲスルカト云ヘバ、大正九年ニハ日本米ヨリ優良ナル所ノ加州米ガドノ、這入テ來タ、全體米ニ對スル我國ノ關稅ハ、日本米ヨリモ非常ニ口價ノ劣タル所ノ外國米ヲ基礎ニシテ作タル所ノ關稅デアアル、然ルニ日本米以上ニ優良ナル米ガドノ、這入テ來テ、此米ニ對シテ關稅ヲ引上ゲルコトヲ行ハナカッタノデアアル、又本年ノ如キモサウデアアル、昨年ノ米ハ收穫ガ不足デアッタノデアアルカラシテ、或程度ニ價格ノ昂上ヲ來スト云フコトハ當

然デアアル、所ガ政府當局ハ米ノ數量ガ不足ヲ生ズルトノ斷定ヨリ、本年一月以來頗ニ米ノ輸入ヲ企テ、或ハ既ニ三四十万石ノ米ノ輸入ヲ敢テ致シタノデアアル、  
○副議長(小泉又次郎君) 時間ヲ延長シマス

○高田耘平君(續) ソレノミナラズ現在ノ米穀法ノ缺點ハ、即チ數量ニ餘剩ガアル場合ニ於テハ、政府ハ之ヲ民間ヨリ買上ゲル、成程結構デアアル、買上ゲル米穀ハ一定ノ所ニ貯藏シテ置クカラ、何等内地米ノ數量ニハ増減ガナイノデアアル、隨テ價格ニ影響スルコトガ殆ドナイ、所ガ足リナイ場合ニハ、米穀法ノ働ニ依テ、政府ハ勝手ニ米ヲ持テ來ル、勝手ニ米ヲ持テ來ルノデアリマス、詰リ内地米ガ殖エルノデアリマス、餘剩ノアツタ場合ニ政府ガ民間ノ米ヲ買上ゲルコトハ、其數量ガ國內ニ於テ殖エルノデナイカラ、何等價格ニ影響ガナイガ、足リナイ場合ニ於テ政府ガ外國カラ買上ゲル、五十万石買上ゲルトカ、三十万石買上ゲルトカスルト、買上ゲルハソレ丈内地米ガ殖エル譯デアアルカラシテ、ソレガ爲ニ直ニ價格ノ下落ヲ來タスト云フコトハ明カデアアル、私ハ現在ノ我國ノ米穀ノ價格ハ、今申上デマシタ状態ニ依テ存シテ居ルト思フノデアリマス、即チ米穀法ノ運用ト云フモノハ、ソレ自身ニ於テ既ニ消費者本位ニ運用サレ易ク、加之農商務當局ハ、是カラハドウモ恐ロシイ、大正七年ノヤウナ米暴動ガ起ルト、農商務省ノ役人ナドハ、農商務省ニデモ労働者ニ押込マレテハ堪ラヌト云フコトヲ、農商務大臣及農務局長等ガ常ニ杞憂ノ念ヲ懷イテ居ルヤウニ思フ、故ニ米ガ少し上ガルト、又米暴動ト云テ騒出ス、又新聞記者モ直之ニ響應シテ、米ガ上テ米暴動ガ明日ニモ起リサウニ書出ス、農商務當局ハ直ニ慄シテ、何トカシナケレバナラヌト云テ大騒ヲスル、所ガ米ノ値段ハ下テモ、農民ハ東京ニ居ラナイ、田舎ニ居テ、陸ニ於テ政府ニ對シテ間接ニ怨ヲ有テ

居ルケレドモ、農業者ハ米ノ下落ノ爲ニ暴動ヲ起スト云フヤウナル事ハ先以テ今日ハ無イカラシテ、今後モ尙ホ無イモノト思フ、米ノ下ルコトハ平氣デアレドモ、米ガ少しデモ上ルト云フト、農商務當局ハ大騒ヲスル、是亦農商務當局トシテ已ムヲ得ナイノカモ知ラヌト思フノデゴザイマス、ケレドモ、此所謂消費者ノ暴動ヲ恐レル、農業者ハ暴動ヲ敢テシナイト云フトノ見地カラ、即チ米穀法ヲ生産者ニ不利ニ運用スルト云フトニ立到、タノデアアルト、私ハ思フノデアリマス、即チ前申上デマシタル所ノ財政上ト經濟上トノ理由ニ依テ、更ニ又米穀法ノ運用ガ寧ろ消費者ノ利益ヲ保護スル上ニ於テ運用サレルト云フ此二ツノ事柄ガ、所謂前申上デマシタ通り、農産物ノ價格ガ他ノ物價ニ比シテ割安デアルト云フ状態ヲ呈シタモノデアアルト私ハ思フノデアリマス、以上ノ二ツノ理由ガ農民ノ經濟ヲシテ行キ立ツコトヲ得セシメナクナッタモノデアアルカラシテ、ドウシタラ宜シイカト云フコトヲ吾等考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレガ爲ニ第一ニ吾等ハ米穀法ヲ改正シタイト思フノデアリマス、米穀法ヲ改正シテ、現在ノ如ク數量ノ調節ヲ爲スノミナラズシテ、大體ニ於テ生産費ヲ基礎トシテ價格ノ調節ヲ爲スト云フ意味ニ於テ、米穀法ヲ改正スルコトガ、最も此場合ニ於テ必要ナルコトデアアルト思フ(「簡單」ト呼ヒ其他發言スル者アリ)簡單トハ行キマセヌ、言ヘバ言フ程ナンボデモヤル、是ハ簡單ニハ行キマセヌヨ、即チ米價ヲ下落セシメズシテ、日用ノ必需品ノ價格ヲ低落セシメテ、而シテ農家經濟ヲシテ收支均衡ヲ得セシメルト云フトガ、若シ出來レバ是ハ結構デアルト私ハ思フ、併ナガラ此政策ハ直ニ行フコトハ不可能デアツテ、若シ此政策ヲ直ニ行フコトニ相成レバ、是非非常ナル所ノ事態ヲ我國ノ經濟界ニ起スト思フノデアリマス、故ニ吾等ハドウシテモ若シ日用必需品ノ價格ヲ下落セシムルト云フ政

策ノ實行ガ出來ナイトスレバ、抄クトモ關稅ノ働ニ依テ、或ハ米穀法ノ改正ノ働ニ依テ、米穀ノ價ヲシテ他ノ日用必需品ノ價格ト並行ヲ得セシムル、ソレダケノ價格ニ米價ヲ引上ゲルト云フトノ政策ヲ、吾等ハ政府ニ向テ要求スルノデゴザイマス、殊ニ小麥ニ付テ甚スキモノガアリマス、併ナガラ此小麥ノ問題ハ、土井君ガ關稅改正ニ關スル建議案ヲ御出シニナルヤウデアリマスカラシテ、特種ノ理由ガ小麥ニ付デアリマスカレドモ、此事ハ私申上デマセヌ、第二ニハ負擔ノ輕減ノ問題デゴザイマス、即チ國稅地方稅ヲ通ジテ負擔ノ輕減ヲ爲スベキ必要アリト思ヒマス、尙又間接デアリマス、間接ニハ國民ノ教育ニ關係ノアルコトデゴザイマスケレドモ、農村ノ最も負擔ノ重キニ苦シムト云フ點ハ何デアアルカト云ヘバ、國民教育ニ關スル所ノ支出デアリマスカラ、義務教育費ニ對スル國庫負擔額ヲ、今日ノ四千万圓以上ニ更ニ増額ヲ要求スル次第デアリマス、尙又此處デ申上ゲナケレバナラヌ事ハ、農業者ト商業者工業者トノ負擔ノ不公平ナル事デゴザイマス、即チ商業者工業者ニ比シテ、農業者ガ國稅ニ對シ、或ハ地方稅ニ對シテ重キ負擔ヲ負ウテ居ルト居ルト云フトデゴザイマス、ソレハドウ云フ風ニ數字ニ現ハレテ居ルカト云ヘバ、大藏省ガ色々ノ方面ヨリ調べマシタモノノ平均シテ見ルト、農業者ノ收益百圓ニ對シテ其公課ハ十圓六十七錢デアアル、所ガ物品販賣業者ハ收益百圓ニ對シテ九圓二十錢、製造業者即チ工業者ハ收益百圓ニ對シテ其負擔ガ六圓八十二錢ト云フトニ相成テ居リマシテ、農業者ト商業者、工業者トノ間ニ於キマシテ、非常ニ負擔ノ不公平ガアルノデアアル、即チ農民ガ、最も重キ負擔ニ任ジテ居ルト云フ事柄ハ、是非大藏省ノ統計ガ明ニ示シテ居ルノデゴザイマス、故ニ吾等ガ農民ノ負擔ヲ輕減スルト云フ意味ハ、決

策ノ實行ガ出來ナイトスレバ、抄クトモ關稅ノ働ニ依テ、或ハ米穀法ノ改正ノ働ニ依テ、米穀ノ價ヲシテ他ノ日用必需品ノ價格ト並行ヲ得セシムル、ソレダケノ價格ニ米價ヲ引上ゲルト云フトノ政策ヲ、吾等ハ政府ニ向テ要求スルノデゴザイマス、殊ニ小麥ニ付テ甚スキモノガアリマス、併ナガラ此小麥ノ問題ハ、土井君ガ關稅改正ニ關スル建議案ヲ御出シニナルヤウデアリマスカラシテ、特種ノ理由ガ小麥ニ付デアリマスカレドモ、此事ハ私申上デマセヌ、第二ニハ負擔ノ輕減ノ問題デゴザイマス、即チ國稅地方稅ヲ通ジテ負擔ノ輕減ヲ爲スベキ必要アリト思ヒマス、尙又間接デアリマス、間接ニハ國民ノ教育ニ關係ノアルコトデゴザイマスケレドモ、農村ノ最も負擔ノ重キニ苦シムト云フ點ハ何デアアルカト云ヘバ、國民教育ニ關スル所ノ支出デアリマスカラ、義務教育費ニ對スル國庫負擔額ヲ、今日ノ四千万圓以上ニ更ニ増額ヲ要求スル次第デアリマス、尙又此處デ申上ゲナケレバナラヌ事ハ、農業者ト商業者工業者トノ負擔ノ不公平ナル事デゴザイマス、即チ商業者工業者ニ比シテ、農業者ガ國稅ニ對シ、或ハ地方稅ニ對シテ重キ負擔ヲ負ウテ居ルト居ルト云フトデゴザイマス、ソレハドウ云フ風ニ數字ニ現ハレテ居ルカト云ヘバ、大藏省ガ色々ノ方面ヨリ調べマシタモノノ平均シテ見ルト、農業者ノ收益百圓ニ對シテ其公課ハ十圓六十七錢デアアル、所ガ物品販賣業者ハ收益百圓ニ對シテ九圓二十錢、製造業者即チ工業者ハ收益百圓ニ對シテ其負擔ガ六圓八十二錢ト云フトニ相成テ居リマシテ、農業者ト商業者、工業者トノ間ニ於キマシテ、非常ニ負擔ノ不公平ガアルノデアアル、即チ農民ガ、最も重キ負擔ニ任ジテ居ルト云フ事柄ハ、是非大藏省ノ統計ガ明ニ示シテ居ルノデゴザイマス、故ニ吾等ガ農民ノ負擔ヲ輕減スルト云フ意味ハ、決

シテ一面農民ソレ自身ノ利益ヲ計ルト云フ意味ノミニアラズシテ、國民ヲシテ負擔ノ權衡ヲ得セシムルト云フコトニ對シテ、最も必要ナル政策デアルト信ズルノデアリマス、更ニ又所得稅法ノ如キモノニ付キマシテモ、非常ニ不公平ノ點ガアルノデゴザイマス、故ニ所得稅法ニ付キマシテハ、之ニ改正ヲ加ヘテ、所謂資本ニ對スル配當金ニ對シテ四割ヲ控除スルト云フ意味ニ於テ、農業者ニ對シテモ、普通ノ商工業者ニ對シテモ、同一ノ控除額ヲ設クルト云フコトモ、是亦負擔ノ均衡ヲ得セシムル政策デアルト思ヒマス、次ニハ自作農維持創定ノ問題、是ハ政友本黨ノ方々ヨリモ度々御話ガアリマシテ、私モ是ニハ無論贊成スルノデアリマス、元來小作爭議ト云フモノ、根源ハ、言フマデモナク、大體ニ於テ經驗ノ問題ガ其主ナルモノデアアル、故ニ若シ政府ノ政策ニ依テ、農業ヲシテ收支均衡ヲ得ル産業タラシムレバ、小作問題ハ自然ニ解決スルト信ジマス、サリナガラ其根本的ノ解決ト申シマスレバ、トウシテモ小作人ト云フモノヲ無クスル方ガ宜イ、小作地ヲ無クスル方ガ宜イ、即チ農民ト云フモノハ、自分ノ土地ヲ自分デ耕作スベキモノデアアル、全部自作農トスルト云フコトガ、農業革新ノ大根本政策デアルト私ハ思フノデアリマス、此問題ガ解決サレ、バ、小作爭議ノ問題ハ起ラナイノデアリマス、加之全部ヲ自作農ニスルト云フコトハ、小作爭議ノ解決ノ爲ノミナラズ、我國ノ食糧問題ノ解決ニモ非常ニ重大ナル力ガアル、何トナレバ同ジ反別ヲ耕作シテモ、地主ノ土地ヲ小作人ガ耕作スル場合ノ所得ト、自分ノ土地ヲ自分デ耕作スル場合ノ所得トハ、其同一ノ反別ヨリ得ル所得ニ於テ、少クトモ一割乃至二割ノ増加ガアルノデゴザイマスカラ、自作農ヲ維持シ或ハ創定スルト云フコトハ、其問題ニ付テノミナラズ、食糧ヲ豊富ニス

ルト云フコトノ方法ノ一端ニ相成ルト私ハ確ク信ズルノデアリマス、ソコデ清浦内閣ハ貨幣改鑄益金ノ利子ニ依テ、二百万圓ヲ四年間支出スル、而シテ非常ニ長期ノ間ニ於テ年三分五厘ノ金ヲ貸スト云フ案ヲ立テタノデアリマス、而シテ五年目ヨリハ五百圓ツ、百六十年カ百七十年經テハ其償還ノ目的ヲ達スルト云フ案ノヤウニ記憶シテ居ル、是ハ姑息ノ案デアアル、極メテ姑息ノ案デアアル、國家百年ノ長計デハナクシテ、國家二百年ノ長計トデモ言フベキデアリマス、兎ニ角清浦内閣ノ立テタ此案ハ立派ナモノデアアル、非常ニ立派ナモノデアアル、併ナガラ姑息ノ案デアアル、サリナガラ如何ニ姑息ノ案デモ無キニハ優ルト思フ、自作農ヲ創定スル爲ニ、小作人ニ對シテ國家ガ之ヲ保護スル爲ニ、極メテ長期ノ安利ノ金ヲ貸スト云フ事柄ソレ自身ハ、假令其金額ハ少ナクトモ、今ノ農民ニ對シテ、大體ニ於テ好感ヲ與ヘルト思フ、先程ノ何方カノ快感程ニハナラナイカ知レマセヌガ、確ニ好感ヲ與ヘルト思フ、故ニ私ハ小作制度調査會ニ於テ、甚ダ姑息ノ案ダケレドモ、無キニ優ルト云フコトデ同意シタノデアアル、所ガ現内閣ニ至テ、此政策ヲ今度ノ議會ニ出サナカッタ、是ハ出サナイト云フ意味デハナイ、極メテ姑息不徹底ノモノデアアルカラ、斯ウ云フ姑息不徹底ノモノヲ出スヨリモ、徹底的ニ效果ノ十分現ハレルモノヲ實行スルト云フ意味ニ於テ、農商務大臣ガ御辯明ニナテ居ル、吾々ハ自作農ヲ維持創定ト云フコトハ、飽マデモ必要ノモノトスルガ故ニ、吾々ハ吾々ノ力ヲ以テ内閣諸公ヲ動かシテ、此問題ヲ解決シナケレバナラヌト信ズルノデアリマス、(ヤレ)「大ニヤレ」ト呼フ者アリ)ヤカマシイ——更ニ農村ノ土地ヲ耕作スル所ノ借金ハ、非常ニ増大シテ居リマシテ、大正十二年度ニ於テ四十二億萬圓カニ達シテ居ルト見ラレマスガ故ニ、

其利子ヲ一割二分ト假定シ致シマシテモ、約五億萬圓ノ利子ヲ拂ハナケレバナラヌノデアリマス、前申上デマシタ通り、米ヲ作リ麥ヲ作り藪ヲ造リテモ、到底利益ガ無いノミナラズ、大缺損ヲ來スト云フ今ノ時代ニ於キマシテ、果シテ農民ガ此四十二億ニ對スル利子ヲ支拂ヒ得ルヤ否ヤト云フコトハ、是ハ餘程吾々ガ心配シナケレバナラヌコトデアアルト思フノデアリマス、故ニ政府ハ如何ナル方法ヲ執リテナリトモ、此農民ノ負ッテ居ル所ノ大ナル負債ニ對シテ、低利ノ資金ヲ與フルヤウニスルコトヲ吾々ハ要望スル者デアリマス、其次ハ農業教育ノ問題、是ハ現在ノ農村ノ子弟ガ農村ヲ厭フト云フ風習ハ、前申上デマシタ經濟的理由ニ其出發點ガアルノデアリマスケレドモ、併ナガラ現在ノ普通教育ガ、大體ニ於テ農民ヲシテ農業ヲ嫌フ意味ニ於テ、即チ教育ソレ自身ガ農業ト云フ業體ニ對シ、極メテ實質剛健ナル氣風ヲ以テ進ム所ノ農業ニ從事セシムルト云フコトニ付テノ教育ヲ缺イテ居ルト思フノデアリマス、故ニ吾々ハ小學教育ニ於キマシテモ、此點ニ付キマシテ道德教育ノ點ニ於テ、非常ニ力強ク小學校ノ兒童ニハ此點ニ付テ教育ヲ施シタイト思フノデアリマス、更ニ又小學校ニ於キマシテモ、現在以上ニ農業ノ知識ヲ與ヘナケレバナラヌ、又農學校等ニ付キマシテモ、其教育ヲ成ハク資料のニシテ、卒業者ハ好シデ直接自分ガ農業ニ從事セシメルヤウニ振向ケナケレバナラヌト思フノデゴザイマス、最後ハ農務省ノ獨立ノ問題デアアル、吾々ハ農務省ノ獨立ヲ主張スル者デアアル、併ナガラ唯、現在ノ農商務省ヲ二ツニ分ツト云フコトハ、意義ガナイト思フノデアリマス、(拍手)吾ガ農務省ノ獨立ヲ要求スル理由ハ、第一ニ此食糧問題ノ解決、衣服問題ノ解決、住宅問題ノ解決ノ根本ヲ定メナケレバナラヌ、先程川原君カラ御話ノ通りニ、今二十五年

間過ギルト米ハ一億萬石ニナル、三千万石足リナクナル、之ヲドウスルカト云フ事ヲ解決シナケレバナラヌ、又色々ナ問題ニ付テモ、御承知ノ通り綿絲モナク、羊毛モナク、今農商務省ハ羊毛ノ試驗ヲヤッテ居ルヤウデスケレドモ、旨ク行カナイダラウト私ハ思フ、更ニ又住宅問題ニ付テモ、材木ハドウデアアル、昨年ノ大震災災ガナクテモ、最近數年間年々數千萬圓ノ材木ヲ外カラ輸入シナケレバナラヌ状態デアアル、即チ吾々ノ衣食住ノ此三者ト云フモノハ、衣類ハ無ク、住宅ノ材料タル材木モ無イ、食糧モ段々不足シテ、之ヲ外國ヨリ買入レナケレバナラヌト云フ状態デアレバ、此國民ノ衣食住ノ三ツニ重大ナル關係ガアル、加之現在ハ農村ガ前申上デマシタ通りニ非常ニ困難ナル状態ニアルノデアリマスカラシテ、此困難ノ状態ヲ恢復シ、食糧問題、衣料問題、住宅問題ノ根本ヲ解決スルノニハ、ドウシテモ是ガ爲ニ特別ナル一省ヲ設ケテ、一意専心此問題ノ解決ニ資セシメルト云フ事柄ハ、ドウシテモ國家ノ爲サナケレバナラヌ所ノ最大急務デアラウト私ハ思フノデアリマス(拍手)私ハ只今マデ極メテ簡單ニ數項ニ付キマシテ其説明ヲ申上ゲマシタノデアリマス、更ニ私ハ此場合農民トシテノ所謂怨嗟ノ念ヲ絶タナイ、ドウ云フ點ニ付テ農民ガ政府ニ對シテ不平ヲ持ッテ居ラレルカト云フ不平ノ一端ヲ申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、第一ハ政費ノ分配問題ニ付テデアリマス、大正十三年度ノ實行豫算ヲ見ルト、其總額ハ十三億四千圓デアアル、其十三億四千圓ハ、如何ニ分配目ニ見テモドウ見テモ、此普通農業即チ米麥ヲ産出スル農業ノ爲ニ、國家ガ直接ニ支出シテ居ル金ハ五百萬圓ニ達シマセヌ、其内開墾獎勵費ノ二百三十萬圓ヲ引クト僅ニ二百七十萬圓ガ、農業獎勵ノ爲ニ國家ガ支出シテ居ル金デゴザイマス、即チ總歲出十三億四千圓ノ千分ノ三、七デアアル、何タル待遇デゴザイマセウ、

ソレモ農村ノ困ラナイ時デアレバ、食糧ガ  
 澤山ニアルノデアラナラバ、吾々ノ衣類ガ  
 十分アルノデアラナラバ、材木ヲ外カラ買  
 ハナイデ済ムノデアラナラバ宜シイガ、食  
 物ガ足りナイト云フ状態ニ於キマシテ、農  
 業ノ爲ニ僅ク千分ノ三・七ノ支出シカシ  
 イト云フ事ハ、是レ果シテ農民ニ忠實デア  
 ルヤ否ヤト云フ事ヲ考ヘナケレバナラヌ  
 (拍手)然ルニ半面他ノ豫算ヲ見ルト云フ  
 下、航海獎勵費ニ對シテ六百七十萬圓、吾  
 々ハ航海獎勵費ニ對シテ六百七十萬圓出ス  
 ノガ惡イトハ言ハヌ、言ハヌケレドモ航海  
 獎勵費ニ對シテ六百七十萬圓國家ガ出ス必  
 要ガアルナラバ、國民ノ大多數ニ極メテ重  
 大ナル利害關係アル農業振興ニ對シテ、  
 何故ソレ以上ノ金ヲ支出シナイカト云フコ  
 トヲ私ハ怪シマテ居ルデアリマス、全農民ハ斯  
 ノ如キ怪シマテ居ルデアリマス、コトヲ申  
 ゲルノデゴザイマス、更ニ又市ノ水道費ニ  
 對シテ二百萬圓支出シテ居ル、吾々ハ是モ  
 結構デアルト思フ、成程良イ水ハ飲マナケ  
 レバナラヌ、衛生上必要デアアル、併ナガラ  
 市ノ水道補助ノ爲ニ三百萬圓出スナラバ、  
 何故一般ノ普通農業ヲ獎勵スルノ爲ニ、僅カ  
 五百萬圓許リノ金ヲ出シテ置クノデゴザイ  
 マセウト言ヒタイ、更ニ又港灣改良ノ爲ニ七  
 百萬圓ヲ年々出シテ居ル、成程港灣改良モ  
 必要デアアル、船者ヲ良クスルト云フ事ハ必  
 要デアアル、併ナガラ港灣改良以上ニ、全農  
 民ニ對シテ農村振興ノ爲ニ、是以上ヲ支出  
 シナケレバナラヌト私ハ要求スルノデアリ  
 マス、又植民地ニ對スル大正十三年度ノ支  
 出ヲ見ルト云フト、樺太ニ對シテ百萬圓支  
 ヲ出シ、關東州ニ對シテ四百萬圓支出ヲ爲  
 シ、朝鮮ニ對シテ千五百萬圓ノ支出ヲ爲  
 シ、南洋洲ニ對シテ二百九十萬圓ノ支出ヲ  
 シ、合セテ二千二百九十萬圓デアアル、前申  
 上ゲマシタ通り、普通農業獎勵ニ對スル國  
 家ノ支出ハ、開墾獎勵費ヲ合セテモ僅ニ五  
 百萬圓デアアル、樺太ニ對スル百萬圓、關東  
 州ニ對スル四百萬圓ト其額ガ同ジデゴザイ  
 マス、成程樺太開發モ必要デアアル、關東州

開發モ必要デアラウト思フ、併ナガラ全國  
 六千七百萬人中、絶對多數ヲ占メル所ノ農  
 民ガ、今ヤ疲弊困憊ノ状態ニアル場合ニ於  
 テ、吾々ハ朝鮮二千五百萬圓ヲ支出シ、南  
 洋洲ニ對シテ二百九十萬圓ヲ支出スルヨリ  
 モ、斯ル費用ヲ削減シテモ、或ル程度マデ  
 輕減シテモ、農村振興ノ爲ニ政府ガ金ヲ出  
 スト云フコトガ、全農民ニ對スル國家ノ相  
 當ナル待遇ナリト思フ(拍手)更ニ又金融問  
 題ニ付テハ、農民多數ハ斯ウ云フコトヲ考  
 ヘテ居ル、郵便貯金ハ決シテ都市ノ人バカ  
 リガ出シテ居ル金デハナイ、到ル所ノ村落  
 ノ人々ガ郵便貯金ヲ蓄ヘテ居ル、然ルニ此  
 郵便貯金ノ殆ド大部分ガ、商工業者及都市  
 方面ニ於テ流用サレテ、之ヲ多ク出シテ居  
 ル所ノ農民ニ向テ流通サレナイト云フコ  
 トニ付テ、政府ハ何故ニ都市商工業者ニ對  
 シテ此支出ヲ爲シテ、農村ニ對シテ支出ヲ  
 爲サナイノデアアルカト云フコトノ怨嗟ノ聲  
 ヲ放テ居ルノデゴザイマス、(拍手)更ニ  
 又政府ハ、米ノ調節ト云フ事ニ付テ、現在  
 マデノ政府ハ——現在マデノ政府ハト敢テ  
 言ヒマス、米ノ相場ノ抑制ニ付キマシテ、  
 有ユル方法ヲ執リ、少シ高クナルト直グ外  
 米ヲ輸入スル、併ナガラ他ノ商工業者ガ暴  
 利ヲ貪リタ事ニ付テハ、餘リ干涉シナイヤ  
 ヲデアリマス、現在ハドウカ知リマセヌ  
 ガ、大正七八年ノ交、其後トモ非常ニ商工  
 業者ノ繁昌ヲ極メタ場合ニ於キマシテハ、  
 十割二十割ノ配當ヲ敢テシタル所ノ會社ガ  
 諸所方々ニアラタノデアリマスガ、其時ノ  
 政府、其後ノ政府デ、是等ノ暴利ヲ貪リ  
 ル商工業者ニ對シテ、何等ノ制裁ヲ與ヘタ  
 コトヲ聞カナイノデアリマス、此點ニ付キ  
 マシテ、全農民ハ非常ニ度待サレテ居ルト  
 稱スルガ、何故ニ政府ハ商工業者ニ對シテ  
 暴利ヲ以テ之ヲ抑制セズシテ、少シバカ  
 リ米ガ騰シテ農村ノ景氣ガ好クナルト、米ノ  
 値ヲ引下ゲル政策ヲ執リタカト云フコトニ

付テ、非常ニ怨嗟ノ聲ヲ持テ居ルト云フ  
 コトヲ御承知ヲ願ヒタイノデアアル、更ニ又  
 帝都復興ノ問題ニ付テモサウデアアル、帝都復  
 興ハ必要デアアル、勿論必要デナケレバナラ  
 ヌカラ吾々ハ協賛ヲ與ヘルノデアアルケレド  
 モ、帝都復興ト同時ニ農村ノ復興ヲシナケ  
 レバ、帝都復興ハ到底完全ナル働ヲ爲スコ  
 トハ出来ナイノデアアル(拍手)故ニ吾々ハ帝  
 都復興ニ喜ンデ同意スルト同時ニ、農村ノ  
 振興ト云フ言葉以上ニ、寧ろ農村ノ復興ニ  
 付テモ、政府ガ之ニ對シテ最善ノ努力ヲ致  
 サレンコトヲ望ム者デゴザイマス(拍手)耕  
 地ノ改良トカ、或ハ擴張トカ云フコトヲ爲  
 シテ收穫ノ増加ヲ爲スコト、或ハ農具ノ改  
 良ヲ爲シテ生産費ノ減少ヲ爲スコト、種苗  
 ノ改良、耕耘ノ方法改善等ニ依リマシテ收穫  
 ノ増加ヲ圖ルト云フ、即チ普通ノ農業獎勵  
 ニ屬スル事ハ、是レ勿論農政當局者モ其任  
 ニ當リ、農業當事者モ其事ニ努メナケレバ  
 ナラヌコトデアアルケレドモ、米ヲ作レバ損  
 ヲスル、麥ヲ作レバ損ヲスル、藪ヲ取レバ  
 損ヲスルト云フ今日ノ經濟状態ニ於キマシ  
 テハ、如何ナル積極的ノ普通農業ニ向テ  
 ノ獎勵方法ヲ執ラテモ、決シテ是ガ實行出  
 來ナイト云フコトヲ、政府當局者ニ承知シ  
 テ戴キタイノデアリマス、此際私ハ米ノ價格  
 ニ付テノ私ノ見ル所ヲ御參考ノ爲ニ申上ゲ  
 テ見タイト思フ、米ハ勿論國民ノ必要ナル  
 食糧デゴザイマスカラシテ、吾々ハ成ベク  
 優良ナル米ヲ多額ニ産スルコトヲ望マナケ  
 レバナラヌノデアアル、併ナガラ米ニ對スル生  
 活上ノ關係ガ、生活上ノ結果、非常ニ昔ヨリ  
 違テ居ルト云フコトハ、是レ爲政者ノ此  
 點ニ頭ヲ置カナケレバナラヌコトデアアルト  
 思フノデアリマス、昔ハ米ト云フ物ハ非常  
 ニ其一家ノ生計費ニ於テ重キヲ占メテ居  
 タノデアアル、所ガ現在ハ主タル物デアアル  
 ケレドモ、左程重キヲ爲ス物デアナイノデ  
 アリマス、且又米ガ上ルト外ノ物價ガ上ル

ト云フコトヲ能ク言フ、所ガ事實ハソレヲ  
 裏切テ居ル、即チ大正三年カラ大正八年マ  
 デ、先以テ物價ハズト上テ、其上ヲ經過  
 ヲ見ルト、米ノ値段ガ上ラテ外ノ日常必需品  
 ガ上ラテハアリマセヌ、統計ヲ見レバ明  
 ニ外ノ日常必需品ガ上ラテ、而シテ米ノ相場  
 ガ之ニ續イテ上ラタト云フコトハ統計ノ示  
 ス所デアリマス、即チ大正九年以後ノ反動  
 期ヨリ今日ニ至ルマデ、米ノ價格ハ非常ニ  
 下タガ、他ノ日常必需品ノ價格ハ其割ニ下  
 ラヌト云フコトハ是モ現實デアアル、然ラバ  
 米ノ値段ガ上レバ他ノ物價ガ上ルト云フコ  
 トハ間違テ考デアアルト私ハ思フ、ソレハサ  
 ナラナケレバナラヌ所ノ理由ガアルノデゴ  
 ザイマス、何トナレバ米ノ値段ト云フモノ  
 ハ、今日ノ向上シタル生活ニ於キマシテハ、  
 生活費ノ極メテ一部デアラガデアリマス、  
 前申シマシタ通り織物、酒、醬油、煙草、砂  
 糖、此五種ノ全國ノ消費量ヲ大體大藏當局  
 ニ就テ調べテ見ルト云フト、約三十億圓  
 デアル——約三十億圓デアアル、所ガ米ノ  
 三箇年間ノ消費額ヲ調べテ見ルト云フト、  
 一石三十二圓許リニ見テ約二十億圓許リ  
 デアル、即チ織物、酒、醬油、煙草、砂糖ノ  
 此五種ニ對シテ國民ガ支出スル金ヨリモ、  
 米ニ對シテ支出スル金ガ少イノデアリマス、  
 十億圓ノ差ガアルノデゴザイマス、斯ル  
 ガ故ニ俸給衣食者デモ、勞働者デモ、是等  
 ノ家庭ニ於テモ、米ニ對スル支出ト云フモノ  
 ノハ總家計費ノ僅少ナル部分ニ相成テ居  
 リマシテ、寧ろ吾々ノ見ル所デハ、米ニ對  
 スル支出ヨリモ酒、煙草、其他贅澤品ニ對  
 スル支出ノ方ガ多イ家庭ガアルト云フ事柄  
 ハ、勞働者ニ於テモ、或ハ俸給生活者ニ於  
 テモ見ラル、次第デアアルト思フノデアリマ  
 ス、然ルニ斯ノ如ク米ト云フモノハ現在ノ  
 生活ニ於キマシテモ、成程生活必需品トシ  
 テ必要ナル物デアアルケレドモ、米ソレ自  
 體ノ價格ト云フモノハ、直接ニ國民ノ生活  
 費ニハ大シタ影響ガ無イト云フコトハ、是

ハ非常ニ昔ヨリ變々現象デアルト思フ、昔ハ支出ノ少ナイコトヲ煙草錢ト云フ、是ハ極メテ煙草ガ安カクタカラデアアル、今ハ米錢ト云フコトヲ言フヤウニナリテ來タ、米錢ト云フ、煙草錢ヨリ米錢ノ少イ家庭ガ幾ラモアルヤウニナリタコトハ事實デアアル、故ニ米ト云フモノハ必要ナ物デアアルケレドモ、是ハ昔ノヤウニ米ト云フモノガ非常ニ生活費ノ大部分ヲ占ムルモノデアルトシテ、米ヲ扱フコトヲ事柄ハ間違テ觀念デアルト私ハ思フノデアリマス(拍手)此間違テ觀念ガ即チ今日ノ米價調節ニ相成リテ、農民ガ直グ苦シメラレル理由デアルト云フコトヲ私ハ固ク信ズル者デアリマス、斯様ニ私ハ政府ニ向テ色々ノ要求ヲ致シマスルケレドモ、併ナガラ吾々ハ決シテ政府ノ力ニ依テノミ此農村ノ救済ヲ叫ブト云フコトハ無理デアルト思フ、農民ソレ自身モ經濟的ニ自覺シテ、其生活ニ付キマシテモ極メテ質實剛健ニ立返リ、更ニ又勞働能率ヲ増加シナケレバナラヌト思フノデゴザイマス、吾々ハ決シテ政府ニ向テ農村振興ノミヲ叫ンデ、現在ノ農民ニ經濟的缺陷ガ無イト言フノデアリマス、ドウ致シマシテモ政府ニ向テ農村ノ救済ヲ要求スルト同時ニ、全農民ハ其全能力ヲ發揮シテ其勤勞ニ努メ、其生活ヲ質素堅實ニシナケレバナラヌト固ク信ズルノデゴザイマス(拍手)私ハ信ジマス、農村ハ我國ノ基礎デアリマス、而シテ農民ハ我國ノ絕對多數デアリマス、故ニ能ク此農村問題ニ付テ理解ヲ持テ、現在ノ疲弊困乏シタル所ノ農村ニ付テ相當ナル農業政策ヲ執ル所ノ政府ハ、必ズ長持スルト思ヒマス、政黨ハ必ズ繁昌スルト思ヒマス、(拍手)吾々ハ政府當局ガ、此吾々議員一致ノ決議ト略、同様ナル所ノ建議案ニ對シテ相當ナル考慮ヲ拂ハレテ、來ル議會ニ於テ農村振興ノ問題ニ付テ最善ノ努力ヲ致サレシコトヲ、此席ヨリ要望致ス者デアリマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 本案ニ對シテ質疑ノ通告ガアリマス、堤康次郎君

(堤康次郎君登壇)

○堤康次郎君 只今高田君カラ農村振興ノ建議案ニ付キマシテ、簡單デナク理由ヲ承リマシタ、議論ハ至極御尤デ賛成ヲ致シマスルガ、議論タケテハドウモ物足りナイ、惜イ事ニハ高田君ガ憲政會ヲ代表シテ農商務大臣ニデモナリテ、下サタナラバ、更ニ大ニ結構デアルト思フデアリマス、要スルニ今日ハ最早議論ノ時代ハ既ニ過去テ、實行ノ時代ニ這入リテ居ルノデアリマス、由來建議案ハ一名御土産議案ト云フテ、實行不能ノ人氣取ニ了ルコトガ多イノデアリマス、苟モ議會カラ提出シタル建議案ガ、斯ノ如ク有名無實ニ了ルト云フコトハ、實ニ宜クナイ事デアリマシテ、將來議會ハ無暗ニ建議案ヲ提出スルコトヲ慎マナケレバナラナイシ、政府ハ又議會カラ提出シタル建議案ニ對シテ、之ヲ實行スルニ十分ノ努力ヲシナケレバナラナイ、兩々相俟テ建議案ヲシテ權威アルモノニシナケレバナラナイノデアリマス、要スルニ私ハ(ソレガ質問カ)ト呼ヒ發言者多シ

○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ

○堤康次郎君(續) 私ハ議論ノ内容デナクシテ、此建議案ヲ實行スル點ニ於テ、ドウノ位提案者ハ眞劍ノカヲ御注ギニナルカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、折角ノ建議案モ有名無實ニナリテハ何ニモナラナイノデ、私ハ此建議案ヲ出サレタ提案者ハ、ドウノ眞劍ノカヲ以テオヤリニナルカ、ソレヲ伺ヒタイ、故ニ若シ政府ガ此建議案ノ大體ヲ有名無實ノ有耶無耶ニ辨ルヤウナコトガアツタナラバ、其場合ニハドウモ爲サルカ、ソレデモ矢張從テセラレルカ、若シ左様ナ事ガアツタナラバ——由來農村問題ハ選舉ノ度毎ニ政界ノ御題目トシテ頻ニ宣傳セラレルカ、選舉ガ済ムト段々忘レテシ

マフ、忘レナイバカリニ、唯、此建議案ヲ出シテ御茶ヲ濁スモノデアルト言ハレテモ仕方ガアリマス、サモナクシテ政府ガ大部分之ヲ實行シナイトキニハ、先程高田君ハカヲ用テ言ハレマシタガ、カヲ以テ内閣ニ反對ナサレルカ、カヲ以テ不信任ノ決議案デモ御出シニナリマスカ、若シ左様ナ眞劍味ガ無クッタナラバ、此建議案ハ有名無實ニ了リテシマフノデアアル、要スルニ私ハ此提案者ノ中デ特ニ政府ニ好意ヲ有スル憲政會、政友會、革新俱樂部ノ方々ガ、此建議案ノ大部分ヲ政府ガ實行シナイトキニハ、ソレデモ盲從セラレルカ、或ハ反對セラレルカ、要スルニ此建議案ニハドウノ位ノ眞劍味ガ這入リテ居ルカト云フコトヲ、特ニ三派ノ方ニ御伺致シタイノデアリマス

○副議長(小泉又次郎君) 高田松平君

(高田松平君登壇)

○高田松平君 只今高田君ノ質問ニ御答致シマス、誤解ガアルヤウデアリマスカラ、其誤解ヲ先以テ解キタイノデアリマス、只今堤君ハ私ノ説明シタ事ヲ、憲政會ノ建議案デアリヤウニ御話ニナリマシタガ、サウデアナイ、政友本黨ヲ除ク與黨三派全部ノ建議案デアリマス(拍手)而シテ何故政友本黨ヲ除イタカト云フコトニ付テ此際申上ゲテ見タイ、實ハ先程川原君ハ、此建議案ハ七月二日ニ出シタモノデアルト言ハレル、成程出シマシタ、所ガデス、政友本黨ヲ除ク各派モ議會開會ニナリマス、直グ農村振興ノ建議案ヲ出シタイト云フ話デアッタ、所ガ御承知ノ通り農政研究會ト云フ、政黨派ヲ離レタ所謂特殊ノ團體ノアルコトハ御承知ノ筈デアアル、吾々及政友會、其他各派ノ幹部ガ農村振興ニ關スル建議案ヲ出スト云フコトノ御話ガ吾々ニアリマシタケレドモ、免ニ角成ベク出來ルコトナラバ政黨派ヲ離レテ、農政研究會ガ主トナリテ、衆議院議員一致ノ賛成ヲ得テ一ツノ建議案ニシ

タイト云フ考ヘテ持ッテ居リマシタカラ、吾々ハ幹部ノ建議案ヲ開會當時ニ出スト云フコトヲ差控ヘサセテ居ッタノデアリマス、而シテ御承知ノ通り政友本黨ノ人モ御出シナリマシテ——全部デアリマセヌ、或人ガ御出シナリマシテ、成ベク一緒ニヤラウト云フコトノ協定モ出來テ居ッタノデアリマス、所ガ何故カ突如トシテ、政友本黨ノ方カラ建議案ガ出タノデアリマスケレドモ、決シテ吾々ハ此建議案ニ付テ等閑ニシタモデアリマス、尙ホ堤君ノ御質問ノ(發言スル者多シ)

○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ

○高田松平君(續) 尙ホ堤君ノ御質問ニ御答シマス、眞劍ニヤルカドウカト云フコトノヤウデアアル、無論眞劍ニヤリマス、併ナガラ政治ハ農村振興バカリデハナイト云フコトヲ御承知ノ願ヒタイ、農村振興問題ガ出來ナケレバドウスルカ、ソナナ事ガ御答出來マスカ、眞劍ニ吾々ハ政府ヲ鞭撻シテヤラナケレバナラヌケレドモ、其事ノ出來ル出來ナイニ依ッテ、ドウスウナドト云フコトハ此所デ説明スル限リニアラス、全然吾々ノ自由意思デアリマス(發言スル者アリ)吾々ハ吳々モ申上ゲマス、吾々ハ此建議案ヲ出シテ、政府ニ向テ此建議案ノ趣旨ヲ實行セシムベク、最善ノ努力ヲ拂フト云フコトハ茲ニ申上ゲマス、併ナガラソレガ出來ナカッタラドウスル、出來ナカッタラドウスルト言ハレテモ、此所デ御答スル必要ハナイ(發言者多シ)ドウスルスルハ己ノ自由デアアル、汝等ノ問フ所ニアラズ……

○作間耕逸君 本案ハ日程第五ノ農村振興ニ關スル建議案ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナイト認メマス、左様ニ決シマシタ

○作間耕逸君 議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、即チ議員田淵豊吉君懲罰事犯ノ件ヲ、此際特ニ上程シテ議題トシ、懲罰委員長ノ報告ヲ求メ、其審議ヲ進メ、尙ホ本日ノ議事ハ此懲罰事犯ノ件ニ止メ、殘餘ノ日程ニ對シテハ總テ延期セラレシコトヲ望ミマス

〔贊成〕贊成ト呼フ者アリ

○副議長(小泉又次郎君) 作間君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更サレマシタ、日程ヲ變更シ議員田淵豊吉君懲罰事犯ノ會議ヲ開キマス、懲罰事犯ノ議事ハ秘密會ナルニ依リ、傍聽人ノ退場ヲ命ジマス——田淵豊吉君ノ退席ヲ求メマス

○田淵豊吉君 一身上ノ辯明ヲ致シタイ

○副議長(小泉又次郎君) 辯明ハ許シマセヌ

○田淵豊吉君 ドウ云フ譯デ許サヌ

○副議長(小泉又次郎君) 退場ヲ命ジマス

田淵豊吉君懲罰事犯ノ件(委員長報告)

(午後六時三十九分秘密會ニ入ル)

(午後六時四十六分秘密會ヲ終ル)

○副議長(小泉又次郎君) 是ヨリ議事ヲ公開致シマス、傍聽人ノ入場ヲ許シマス、田淵君ノ入場ヲ許シマス——秘密會ノ結果ヲ報告致シマス、秘密會ニ於テ田淵豊吉君懲罰事犯ノ件ヲ議決致シマシタ、仍テ其議決ニ基イテ宣示致シマス——議員田淵豊吉君ニ對シ、議院法第九十六條第一項第三號ニ依リ、四日間ノ出席停止ヲ命ズ——次回ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會

午後六時四十八分散會